

四星球まさやんの段ボールアート

風とロックのど自慢



▶四星球「僕らのライブで元気づけましょうよ!」▶メガネツインズ「さあ、喋りに来たのかって思われてると思ってます」
▶ホリエアツシ「溜めの精神を学びたい」▶怒髪天「まあ、間違ってたら謝ればいいんだから」

▶LOW IQ 01「ホリエのアツちゃん、このエフェクターすごい面白い!」▶TOSHI-LOW「いいミュージシャンすね、松田さん」

中継

2011年LIVE福島会場を巡る旅

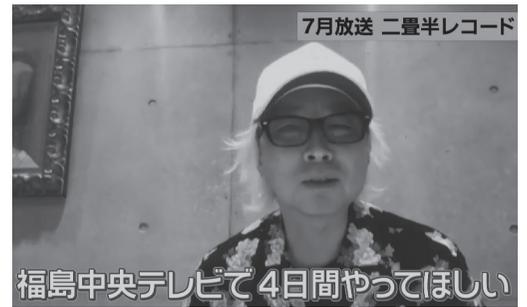
ろっくんろーる横丁の今を訪ねて

音楽あり、笑いあり、涙あり
7時間配信をしてみたい

(オープニング映像)
(2011年) LIVE福島 風と
ロックSUPER野馬追の映像よ
り)
箭:賛否両論ありますよ、これ
今やるべきじゃないんじゃない
いか。こういうことをね、福島
県で。こんな6日間があるこ
とも奪う奴がいんのか!

(I love you & I need
you)ふくしまのライブシーン)

NA:東日本大震災の後、被災
地・福島を盛り上げるため
行ったロックフェス「LIVE
福島 風とロックSUPER
野馬追」。福島県を西から東
へ、会場を変えながら6日間
に渡って開催しました。今年
は10年の節目という意味を
込めて「LIVE福島 風と
ロック大芋煮会」と題して大
規模なライブを行う予定で
した。しかし、新型コロナの影
響で中止に。ですが、そこで終
わらないのが風とロック。



藤井が大笑い

(7月放送 福島中央テレビ「二畳
半レコード」より)
箭:福島中央テレビで4日間やっ
てほしいなと思ってます。
藤:ははははは! (笑)
NA:新型コロナに負けじと、騎
馬武者のように新聞、ラジ
オ、ネット、そしてテレビ。4
つのメディアが駆け抜ける。
SUPER特番!! LIVE福
島 風とロック芋煮会。涙と笑
いの風とロックのど自慢!

徳:9月11日土曜日、時刻は
12時1分をまわりました。
「SUPER特番!! LIVE福
島 風とロック芋煮会」、配信
ライブがいよいよ始まりまし
た!今日は「涙と笑いの風と
ロックのど自慢」と題しまし
て、音楽あり、笑いあり、涙あ
りの7時間配信をしてみたい
ます。そして、風とロック芋煮
会といえは、この方です!
箭:こんにちは、風とロック芋煮
会実行委員長の箭内道彦で
す。

一同:(拍手)

徳:待つてました!

松:はい、風とロック芋煮会実行
副委員長、THE BACK
HORNSの松田です。

徳:よろしくお願ひします!さあ、
そしてスペシャルサポ
ーターとして、元気印のこの方
が参戦です。

成:はい!でんば組 incや
ら、プリキュアのお姉さん
でお馴染み、ハイテンション
A-POPガール、えいたそ
こと成瀬環美です!よろし
くお願ひします!

一同:(拍手)

松:元氣もらえる。

徳:ね!一氣に明るくなりました

記事、写真、イラスト等の複製、転載を禁じます

たよね。

箭:えいちゃん、元々ね(着てい
るTシャツ)この黄色が、24
時間テレビの色でもあって。
成:たまたまですわ(笑)。
箭:そういう感じしますよ。
成:たしかにね。
松:いやほんとにパワーもらい
ますよ。

徳:ね。見た目通り、目に鮮やか
でございます。そして私は、風
とロック芋煮会では芋野球を
担当しております徳光雅英
です。よろしくお願ひします。

一同:(拍手)

松:ありがとうございます、お世
話になります。

徳:さて、冒頭の映像でもありま
したように、今年は新型コロナ
ナウイルスの影響で風とロッ
クが箭内さん、中止になっ
てしまいましたね、残念ながら。
箭:そうですね。本来であれば一
昨日から明日までの4日間、
県内、会津若松、郡山、そして
浜通りのJヴィレッジで開
催する予定でしたが、やっぱ
りみんなが安心してね、ほん
とに笑顔でやれるためには、
まだ時間がかかるなってい
う判断を6月にしました。

徳:そこから今回のこのSUPER

箭:素晴らしいアーティストが
続々ね、来てます。先ほどリ
ハーサル見ました。熱いです
よ。

徳:絶対お見逃しなきように。
そして、福島中央テレビだけ
ではありません。新聞、ラジ
オ、ネット、そしてテレビが
タッグを組みまして、同時間
帯にクロスメディアでこの
芋煮会を盛り上げてまいり
ます。まずはこの後12時30分
から、ふくしまFMからでも
放送するんですよ。で、今
中継が繋がっています。お願
ひします!

箭:素晴らしいアーティストが
続々ね、来てます。先ほどリ
ハーサル見ました。熱いです
よ。

徳:絶対お見逃しなきように。
そして、福島中央テレビだけ
ではありません。新聞、ラジ
オ、ネット、そしてテレビが
タッグを組みまして、同時間
帯にクロスメディアでこの
芋煮会を盛り上げてまいり
ます。まずはこの後12時30分
から、ふくしまFMからでも
放送するんですよ。で、今
中継が繋がっています。お願
ひします!

マ:よろしくお願ひします!

一同:(拍手)

松:お願ひします!

マ:箭内さん、ご無沙汰しており
ます!

箭:ちょうど6月19日、風とロッ
ク芋煮会の中止を発表した
日に、宮城の楽天のスタジア
ムで会ったね。

マ:そうですね。猪苗代湖ズ
のライブが予定されてたん

特番という形になったという
わけですよ。

箭:去年6時間やってもらって、
中テレビ福島中央テレビ)さ
んに。今年72時間やってるん
ですよ。

松:なんでそんなに急が増える
んですか(笑)。

成:ヤバイ(笑)。

箭:12倍ですよ。

松:普通だったら、24時間とか2
倍とかわかりますけど。

箭:いや、来年はこの12倍でい
きましょう。

一同:(笑)

徳:恐ろしい(笑)。

松:2人ください、2人。僕を2
人ください。

箭:2人で足りるの?

松:いや、足りねえ(笑)。

徳:大丈夫ですか?お二方、特に。
もう十何時間経つてますけど。

箭:もう疲れ切ってます。

松:ですけど、乗ってますね、波に。
箭:乗ってるか(笑)。

徳:アドレナリンみたいいな。

松:疲れがあるけども、乗ってま
すね。

箭:今日、相当パワーもらうん
じゃないですか?みなさん
から。ありがとうございます。

松:そう。歌のパワーをね。

箭:見てくださる人たちのね、パ
ワー。芋煮パワーも。

徳:そして風とロックは、みなさ
んの想定内の配信では収ま
りません。(前日までの映像
が流れる)有料配信だけでは
なく、YouTubeでは木
曜日の夜7時から明日の夜
7時まで「72時間村祭り」芋
煮だより!!全具集合!!ハッと
して!!具ツツ!!ということ、
好き好きロンちゃんが出来
て、ラーメンを作ったりですと
か、2014年から2019年ま
で開催された芋野球を、ほぼ
撮影した素材のまま、ほぼ完
全放送していくというです、
(レキシの投球シーンを見て
これも名場面のひとつですが
(笑)。他にはない風とロックら
しいスペシャル配信をしてい
ます!

松:素敵だなあ。

徳:福島民報でも今日の三面記
事に好き好きロンちゃん出
てましたけども。

箭:福島民報の三面にロンちゃ
ん載るってすごいですよ。

徳:載りましたんで(笑)。今
日と明日の2日間は、福島
中央テレビのここで作った
「イモニー村」からLINE

クロスメディアで盛り上げてまいります
ラジオでも放送します

千葉マサト:はい!どうもみな
さん!こんにちは!はろ!煮
込まれてますか?

箭:堤さん、徹さん、マサトさん!
堤 展明:どうもどうも、お疲れ
様です!

マ:ふくしまFM「二畳半レコー
ド オンラジオ」DJの千葉
マサトと。

堤:タワーレコード郡山店店長
と。

古賀 徹:ふくしまFM古賀 徹

マ:よろしくお願ひします!

一同:(拍手)

松:お願ひします!

マ:よろしくお願ひします!

箭:ちょうど6月19日、風とロッ
ク芋煮会の中止を発表した
日に、宮城の楽天のスタジア
ムで会ったね。

マ:そうですね。猪苗代湖ズ
のライブが予定されてたん

成：よろしくお願ひします！

徳：(笑)

松：(笑)

箭：目指しまそつー！(笑)

松：(笑)

成：ええ！

徳：そのひびきよ！

松：今年は1位を目指しまそつー！

成：お願いしまそつー！

松：去年は全国で2位だったらしいんですけど。

成：お願いしまそつー！

徳：お願いしまそつー！



小野「私本当にこの曲当時から大好きで、この曲を聴くと、なんだかこの故郷福島って本当に大事なものになって」

小：同じくいわき市出身郡山市在住の音速ライン藤井さんです。よろしくお願ひします。

藤：お願ひします。

小：もうすでに5分押しということ。

藤：ちょっとね移動がね。焦ってます、ちょっと。

小：かなり焦っているんですけど。

VTTRのNA：2011年に行われた「LIVE福島風とロックSUPER野馬追」。

東日本大震災、そして原発事故の直後ということもあり、当時の福島は放射性物質の影響でイベントをやつて大丈夫なのかと、全国から注目を浴びました。しかし風とロックはありのままの福島県を伝えるために、奥会津、会津若松、猪苗代、

藤：うんうん。

小：そんな福島大好きな私たちで、今回県内6ヶ所10年前のあの会場を巡つてきました。と思います。ということ、まず私たちが最初にお邪魔しているのがこちらなん

デ：お願ひしまそつー！

つばやいてSUPER特番を盛り上げようという企画も行います。「#風とロック芋煮会」をつけてTweeterすると、20周年を迎えたタワーレコード郡山の賞品が抽選でもらえます。どんどんTweetしてトレンド入りを目指しまそつー！

成：お願いしまそつー！

徳：お願いしまそつー！

松：お願いしまそつー！

成：お願いしまそつー！

徳：お願いしまそつー！

松：お願いしまそつー！

中継

藤井敬之 2011年LIVE福島会場を巡る旅 Chapter1「すべてはここから」

LIVE福島スタート地 奥会津只見町「季の郷湯ら里」

松：でも東北で1位になったらしいですね？

徳：そうなんですよ！だから今回は全国区でね、はい。

成：みんな頼むよー！

徳：速報が入り次第、お伝えしたいと思ひます。今年はチャラッとありましたけども、「LIVE福島風とロックSUPER野馬追」から10年ということで、10年を振り返る中継にこの方が出かけています〜！

ど。さて、今回、私たちが行く中継というのはこちらです。「2011年LIVE福島会場を巡る旅」ということで、2011年に行われた、LIVE福島風とロックSUPER野馬追の会場、県内全6会場を、すべて中継中に巡りまして、この10年間の月日と、今の福島をみなさんにお伝えするということ中継を行つていきたいと思ひます。それでは10年前のライブの様子、簡単にまとめましたので、その様子をご覧ください。

小：I love you baby

ふくしま

I need you baby

ふくしま

ふくしまが〜 すき〜

ありがとうござります、ということ、私本当にこの曲当時から大好きで、この曲を聴くと、なんだかこの故郷福島って本当に大事なものになって。

藤：大学生だったんだよね？

小：そうなんです、改めて感じるんができた、そんな歌なんです、藤井さん。

ですが、試合の後に。ところが雨で試合が中止になってしまつてね。

箭：ねえねえ。マサトは、結局、楽

天のほら、なんていうの？

マ：スタジアムMCとかですか？

松：スタジアムDJを、はい。

箭：やつてるでしょ。大谷翔平なんかも呼んだことあるわけでしょ？

一同：(笑)

マ：日本ハム時代ですね。ファイターズ時代。はいはい。目の前で見てましたよ。

箭：アナウンスしたわけでしょ？

マ：ピジターの相手チームはウグイス嬢さんなんですよ。

箭：あ、やらないんだ。

マ：僕は楽天イーグルスのほうだけなんです。SHOHEI OTANU...とかはやれなかったんですよ。

箭：かつこいい。ちよつとこの4人をやつてみてよ。エールを送る意味で。

マ：YANA...!

MICHIHIKO...!

とですか？

箭：はいはいはい！それぞれ。MATSUDA...!

SHINJI...!

松：いえーい！

マ：EITASO!

成：元気でるわい!

松：プロ!

マ：いや、そういう番組じゃないんですよ(笑)。

松：違うんですか？これ。

マ：音楽番組(笑)。ふくしまFMの、まあでも音楽番組とも言い切れない部分はありますかね(笑)。

古：まあ、ほぼトークだからね。一応説明する？

マ：はい、お願ひします。

福島風とロックSUPER野馬追」の6会場を今日明日で回るので。まずは初日の奥会津。只見町に向かつて、到着するぐらいいかな。ちよつとお借りします。

マ：はい。です。ね、この後の「二畳半レコード オン ラジオ」でも箭内さん、じゃない、藤井くん、に電話を繋いだり。それから、ふくしまFMの三吉アナウンサーが今、中テレさんのほうに伺つてるはずなので。

箭：そうなんだ。

マ：レポートを届けてもらったんだとか。

古：現場の様子をね、伝えてもらおうという。

松：わかりました。

配信と見比べてみてください

福島中央テレビで同時生放送

箭：3分くらい押したな、これ。

徳：私もちよつと早口になりました。ラジオ福島で同時生放送、ラジオ福島のパソナリテイ、高田さん!

高田さん：はい!

箭：高田さん、よろしくお願ひします！1時から3時まで。はい!

高：はい！そうです。一緒に盛り上げていきます〜!

一同：お願ひします〜!

高：よろしくお願ひします〜!

箭：ふくしまFM長くなつちゃつて、ラジオ福島こんな短い。

一同：(笑)

徳：こんなに空気を読んでいただいて。

高：大丈夫ですか？

箭：大丈夫です、俺のせいです、すいません(笑)。

松：大丈夫です、大丈夫です。

箭：俺の番組なのにね、ラジオ福島。すみません。

高：巻きで(笑)。毎月1回箭内さんがメインパーソナリティの「風とロックCARAVAN」福島を放送してまして、コ

ですが、試合の後に。ところが雨で試合が中止になってしまつてね。

箭：ねえねえ。マサトは、結局、楽

天のほら、なんていうの？

マ：スタジアムMCとかですか？

松：スタジアムDJを、はい。

箭：やつてるでしょ。大谷翔平なんかも呼んだことあるわけでしょ？

一同：(笑)

マ：日本ハム時代ですね。ファイターズ時代。はいはい。目の前で見てましたよ。

箭：アナウンスしたわけでしょ？

マ：ピジターの相手チームはウグイス嬢さんなんですよ。

箭：あ、やらないんだ。

マ：僕は楽天イーグルスのほうだけなんです。SHOHEI OTANU...とかはやれなかったんですよ。

箭：かつこいい。ちよつとこの4人をやつてみてよ。エールを送る意味で。

マ：YANA...!

MICHIHIKO...!

とですか？

箭：はいはいはい！それぞれ。MATSUDA...!

SHINJI...!

松：いえーい！

二畳半レコード オン ラジオ

古：毎週土曜日お昼12時30分からですね、「二畳半レコード オン ラジオ」という番組をやつてまして。ふくしまFMからの放送です。今日は「SUPER特番!! LIVE 福島風とロック芋煮会」のひとつ、リモートラジオとして生放送でお届けするつもりでいます。

箭：そうです。10年前の「LIVE

福島風とロックSUPER野馬追」の6会場を今日明日で回るので。まずは初日の奥会津。只見町に向かつて、到着するぐらいいかな。ちよつとお借りします。

マ：はい。です。ね、この後の「二畳半レコード オン ラジオ」でも箭内さん、じゃない、藤井くん、に電話を繋いだり。それから、ふくしまFMの三吉アナウンサーが今、中テレさんのほうに伺つてるはずなので。

箭：そうなんだ。

マ：レポートを届けてもらったんだとか。

古：現場の様子をね、伝えてもらおうという。

松：わかりました。

配信と見比べてみてください

福島中央テレビで同時生放送

箭：3分くらい押したな、これ。

徳：私もちよつと早口になりました。ラジオ福島で同時生放送、ラジオ福島のパソナリテイ、高田さん!

高田さん：はい!

箭：高田さん、よろしくお願ひします！1時から3時まで。はい!

高：はい！そうです。一緒に盛り上げていきます〜!

一同：お願ひします〜!

高：よろしくお願ひします〜!

箭：ふくしまFM長くなつちゃつて、ラジオ福島こんな短い。

一同：(笑)

徳：こんなに空気を読んでいただいて。

高：大丈夫ですか？

箭：大丈夫です、俺のせいです、すいません(笑)。

松：大丈夫です、大丈夫です。

箭：俺の番組なのにね、ラジオ福島。すみません。

高：巻きで(笑)。毎月1回箭内さんがメインパーソナリティの「風とロックCARAVAN」福島を放送してまして、コ

郡山、相馬そしていわきの6会場を6日間連続で駆け抜けたのです。今年は「風とロックSUPER野馬追」から10年。あの時と同じ場所、あの日の感動を再び、音楽の力で発信します。

小：I love you baby

ふくしま

I need you baby

ふくしま

ふくしまが〜 すき〜

ありがとうござります、ということ、私本当にこの曲当時から大好きで、この曲を聴くと、なんだかこの故郷福島って本当に大事なものになって。

藤：大学生だったんだよね？

小：そうなんです、改めて感じるんができた、そんな歌なんです、藤井さん。

LIVE福島会場で感じたことを即興で歌います

です。奥会津只見町の「二期の郷湯らり」です。この場所がLIVE福島スタート地でした。当時の只見町の映像をご覧ください。只見町は東日本大震災の被害は少なかったのですが、同じ年に発生した台風で、町を流れる只見川が決壊し、浸水など甚大な被害が出ました。その被災地に元気をと、ここでライブ会場となり、行われたんですよ。実際にメッセージをこのようなボードに書いていただいたり、様々なことをここでライブだけでは行っていないまま、さあ前に行っていましたか。

小：みんな10年前ですからね、うん。

小：本当にここ大自然なんです、が、歌声がね、会場で、大自然の中響き渡りましたね。みなさんやっぱり10年前ということ、で、ちょっとお若いというイメージもしますね。

藤：そうですね、まだ30代だったね、うん。

の只見川流域では、堤防の工事24カ所が進んでいまして、30年くらいはかかるということなんですけども、前に進んで安全な町づくりを行っているというのでした。そしてですね、ここで中継もスタートするんですけども、ギターをお持ちなのは理由があるんですよ、藤井さん。

小：いいですか？
小：まずこのスタート地点で歌っていただいたいなと思っただけです。

小：ほんとそうですね。当時、はね、ここに歌が響いていましたけども、今回藤井さんの歌声が響きました。さあ、ということですね、私たちが実は時間がなくて、すみません。(虫を払う)虫が飛んでまして、はい。時間がなくて、続いて会津若松市のほうに向かいたいと思います。鶴ヶ城、2日目の会場ですね。ということ、急いでいるので、藤井さん行きましょう。

小：まずこのスタート地点に立たれてみていかがですか藤井さん。

藤：僕はその当時実際ここには来なかったんですけど、すごいね。この自然のデカさ。

小：それでお願いします。

小：ほんとそうですね。当時、はね、ここに歌が響いていましたけども、今回藤井さんの歌声が響きました。さあ、ということですね、私たちが実は時間がなくて、すみません。(虫を払う)虫が飛んでまして、はい。時間がなくて、続いて会津若松市のほうに向かいたいと思います。鶴ヶ城、2日目の会場ですね。ということ、急いでいるので、藤井さん行きましょう。

小：当時の様子ご覧になっていかがでしょうか。

松：なんか素敵なデユオに見えますよ、うん、素敵なデユオ。

小：迷いに迷って、選んだ道、すべてはここから、はじまったんだ。

小：迷いに迷って、選んだ道、すべてはここから、はじまったんだ。

小：いやあ本懐かしいですね。これ、ここだけね、あの無料であのどなたでもいらしてくださいっていう形でやったんですよ。で、高橋優のこの「福笑い」って、この歌から6日間の旅が始まりましたね。ね、高橋も若いね、やっぱね、ちょっと。

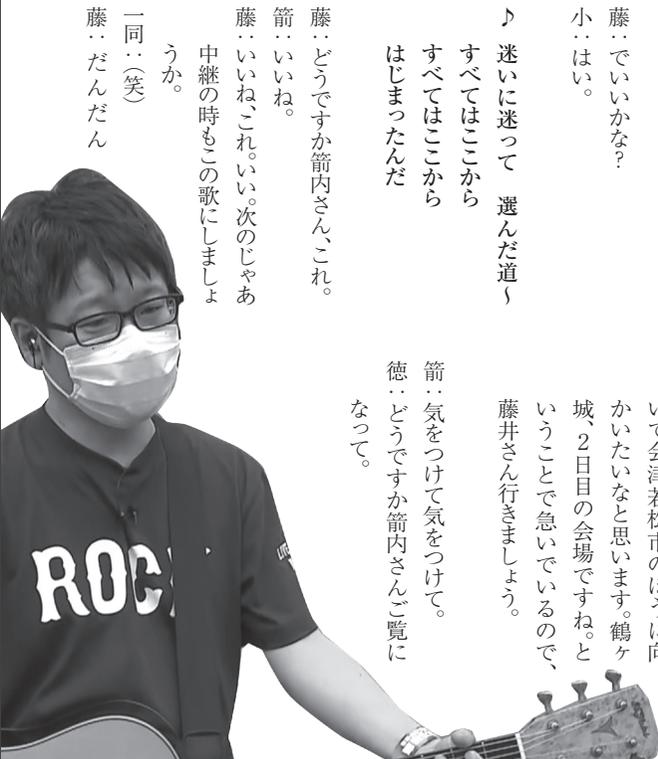
小：そうなんです。私たちが自然に溶け込んで、うん、じゃなく、かっという感じがしますけれども。只見町ですが、現在そこ。

小：迷いに迷って、選んだ道、すべてはここから、はじまったんだ。

小：迷いに迷って、選んだ道、すべてはここから、はじまったんだ。



この自然のデカさ



当時思ってたことをこんな感じなんだろうなっていうのでやりますね

新しい何かが始まる1つの連続

箭：あのね、あのその後言われたんですけど、10年前あの会場に来てた人たちが自分たちでもロックフェスやりたいてって考えて、たぶん「ロック」っていうイベントが生まれたんですよ。

徳：ありましたね、はいはいはい！

箭：だからそうやってね、あのその日だけで終わるんじゃないよ、新しい何かが始まる、この連続ですよ、ね、やっぱり。

徳：ええそのスタート地点から中継でお伝えしました。さあ、では続いてまいりましょうか。



亀田誠治特別編集 「風とロック芋煮会」音楽の側面から考察する「は本誌にて」

VTRのNA：ろっくんろーる横丁とは風とロック芋煮会を食や文化で盛り上げてきたお店たち。なかでも「ニュージヤン」たちが店員となり交流する姿は、「世界1アーティストとお客さんの距離が近いフェス」と言われる所以です。さら

ひとりぼっち秀吉BAND ろっくんろーる横丁の 今を訪ねて ～串鶴～

会津若松の飯盛山 串カツのお店「串鶴」

秀：はい。
松：来た来た来た。
ヨ：はい。
秀：ひとりぼっち秀吉BANDの秀吉です！
ヨ：はい、ヨギです！
ホ：ホリです、どうもー！
スタジオ：(拍手)
秀：ただ今、僕は会津若松の飯盛山にいます。

秀：ご無沙汰しております。
鶴：どうもどうも、ご無沙汰しました。
ヨ：元気にしてましたか？
鶴：おかげで元気だけは持っています。はい。

成：食べたいな。
秀：わ、すごい。見てください。まず会津地鶏串。
箭：地鶏だ。
秀：もういっぱいあってあれなんですけど、僕、秀吉的にちょっと気になるのがカツ餃子。
ヨ：カツ餃子。
成：あ！そんなのがあるの！
鶴：カツ餃子はですね、会津のソウルフードなんですよ。

箭：飯盛山だ。
秀：ここは明治維新の際、戊辰戦争で非業の死を遂げた白虎隊のお墓があることで有名なんです。普通なら観光客で賑わってるところですが、やはりコロナ禍ということ、で、ちょっと寂しい感じになってるわけですけども。

鶴：はい。
ヨ：なので悔しいですよ、ね。
鶴：本当に残念ですよ。本当にみんなに会いたかった。本当に箭内さんにも会いたかったし、俺も「風」のラーメン食べたかったよ。本当に残念ですね。

鶴：中は餃子の餡が入って、外側は餃子の皮ではなくて豚肉で巻いてあるんです。
秀：わー。
ヨ：すごい。
鶴：中は餃子、外はとんかつと、はい。2倍の楽しみがありますね。

松：はい、松田さん。
吉BANDが県内を移動しながら代わりね、ろっくんろーる横丁を元気づける中継です、と、いつか、で、はい。

会津のソウルフード
ヨ：ですよ、ね。あのせつかくなんで、ちょっとそこにあるやつ、ちょっと見てもいいですか？
松：見たい。
秀：メニューが。
ヨ：すごい美味しそうなんです

ヨ：だいたいポリューミーですね。
成：めっちゃ食べたい！
ホ：ああ、食べたいな、もう！
ヨ：これこれ、見て。
秀：ちょっと上いくと。
ヨ：アスパラ。この大きさ。この大きさ。これ何センチくらいありますか？
鶴：これなんと30cmあります。
秀：うわー！すごい。

成：良いですね。
松：はい、福島県在住のみなさん、なんで、今日はどこに行っただのか、な、ちょっと。秀吉、さあ、ここにいますかー？

箭：串鶴だ！
一同：(拍手)
鶴水さん：どうもお待ちしてましたみなさん。

鶴：これなんと30cmあります。
秀：うわー！すごい。

松：「ねぎの青空」って昨日ロンドンちゃん言ってたしね。

松：あの、真つ青な、なんかこう福島をイメージして。

松：ほんとそんな文学的な素敵言葉ありますか？

徳：「ねえー」といってさ、さっさとなくラジオ福島の放送始まります。時刻は午後1時になりました。では箭内さん

箭：「ねぎの青空」って昨日ロンドンちゃん言ってたしね。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

箭：はい、よろしくお願います。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

松：あ、そうですね。

徳：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

松：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

成：でもいこと言ってますよ！

徳：今、風が吹きましたよ！風。

成：いいね。

松：あの、真つ青な、なんかこう福島をイメージして。

松：ほんとそんな文学的な素敵言葉ありますか？

徳：「ねえー」といってさ、さっさとなくラジオ福島の放送始まります。時刻は午後1時になりました。では箭内さん

箭：「ねぎの青空」って昨日ロンドンちゃん言ってたしね。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

箭：はい、よろしくお願います。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

松：あ、そうですね。

徳：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

松：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

成：でもいこと言ってますよ！

徳：今、風が吹きましたよ！風。

成：いいね。

松：あの、真つ青な、なんかこう福島をイメージして。

松：ほんとそんな文学的な素敵言葉ありますか？

徳：「ねえー」といってさ、さっさとなくラジオ福島の放送始まります。時刻は午後1時になりました。では箭内さん

箭：「ねぎの青空」って昨日ロンドンちゃん言ってたしね。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

箭：はい、よろしくお願います。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

松：あ、そうですね。

徳：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

松：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

成：でもいこと言ってますよ！

徳：今、風が吹きましたよ！風。

成：いいね。

松：あの、真つ青な、なんかこう福島をイメージして。

松：ほんとそんな文学的な素敵言葉ありますか？

徳：「ねえー」といってさ、さっさとなくラジオ福島の放送始まります。時刻は午後1時になりました。では箭内さん

箭：「ねぎの青空」って昨日ロンドンちゃん言ってたしね。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

箭：はい、よろしくお願います。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

松：あ、そうですね。

徳：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

松：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

成：でもいこと言ってますよ！

徳：今、風が吹きましたよ！風。

成：いいね。

松：あの、真つ青な、なんかこう福島をイメージして。

松：ほんとそんな文学的な素敵言葉ありますか？

徳：「ねえー」といってさ、さっさとなくラジオ福島の放送始まります。時刻は午後1時になりました。では箭内さん

箭：「ねぎの青空」って昨日ロンドンちゃん言ってたしね。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

箭：はい、よろしくお願います。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

松：あ、そうですね。

徳：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

松：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

成：でもいこと言ってますよ！

徳：今、風が吹きましたよ！風。

成：いいね。

松：あの、真つ青な、なんかこう福島をイメージして。

松：ほんとそんな文学的な素敵言葉ありますか？

徳：「ねえー」といってさ、さっさとなくラジオ福島の放送始まります。時刻は午後1時になりました。では箭内さん

箭：「ねぎの青空」って昨日ロンドンちゃん言ってたしね。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

箭：はい、よろしくお願います。

松：よろしくお願います。

徳：はい、そして今日はですね、その他にも出演者の方がいらっしゃると思います。ええと、画面向かって、って画面がないんですけどラジオは(笑)、えっと右側にはこの方です。

松：あ、そうですね。

徳：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。

松：そうですね。私もあの、ラジオ福島に声乗るのがね25年ぐらい振り。



松田「で、ケツ、ケツ、ケツ、ケツ、ケツ見せて」



ヨギ「これ「LOVE」」



成瀬「角度、角度」

時刻は午後1時になりました 風とロック CARAVAN 福島

お願います！

箭：「風とロックCARAVAN 福島」の毎月この時間、お送りしてる時間ですが、今日はですね「SUPER特番!!」

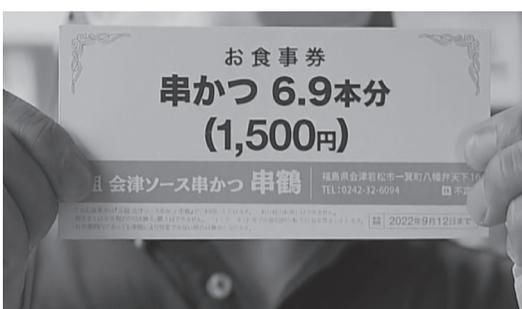
松：「THE BACK HORN」

成：「さあそして、元気印のこの方」

松：「郡山」

徳：「はい、そして、こちらの喋り」

成：「はい、そして、こちらの喋り」



ほぼ7本ですから。ありがとうございます

ね(笑)。

松：ほい、ですね！ちよっぴりほしいですね。やっぱりいたきたいね。

徳：いやでも本当にどれも美味しそう。ミウガなんかね、いい感じの火の通り具合だったりするんでしょ。これね。

県内在住組がロケに出ます

(串揚げが映る)

成：もうこりゃババいね。

松：いいですね。これやっぱ秀吉たちが一番楽しい旅じゃないですか、これ。

徳：たしかに(笑)。

松：県内のね、美味しいもの食べに行くね。

箭：県内在住組がロケに出るっていう決まりにしていますので。

徳：そうですね。

松：そうですね。

徳：はい、ということでは、あの新型コロナウイルスが終息したら、ぜひあちらのお店にも行っていただきたいと思えます。さあこの後、午後1時、13時からですね「風とロックCARAVAN 福島」ということで、ラジオ

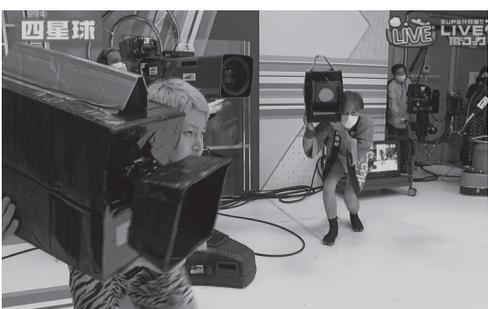
部分、ラジオ福島をお聴きのみなさんにも楽しんでいただくというところで、このスタジオがあるのがですね、福島中央テレビの、本来はですね、中継車を入れておく車庫なんですけど(笑)、そこに今、芝が敷かれておりまして、で、ちよっぴお三方がですね、箭内さんを中心に右手に松田さん、そして左手にえいたさん、という感じで、えっと新型コロナウイルスの関係もありますので、パーティションで仕切られている状態で、15畳ぐらいの広さですかね。そのところに今スタジオが作られています。

言葉で描写します

箭：さすがだ、なあ、徳光さん。これ始まる前の打合せで、いつものテレビとは違って、音声だけで聴いていらっしやる方たくさんいらっしやるから、ちゃんと描写してくださいっていうふうに言ったら、もうじつかりと。

松：そう、だから画面だけ見たら、なんでそんなバラすのかなと思っただけですけど、そ

四星球



撮れてますか〜！いい画、撮れてますか〜！

夜19時ですね、までお送りしています。このSUPER特番です。

徳：もう50時間ぐらいね、続いているわけ。

箭：いやもう40：続いていますかね。50は続いてないですよ。

徳：あとで計算しときますね(笑)。ごめんさい。

成：でも相当ですよ。

徳：これがねもうこれゆるい感じで始めると言いながら、お二方乗りに乗って、箭内さんと松田さんがね。もう手綱を緩めることなく今駆け抜けられている最中と。

箭：でもね、今日はねこの番組の中でライブをお送りしますよ。すごい貴重なライブ。

ま：ああ、そうですね、お聴きのみなさんいらつしやると思いますが。ラジオ福島にチューニング固定されているお店の方とかね。風とロック芋煮会は去年に続いて今年も残念ながら中止を決定しました。

松：ライブ楽しみですね。

徳：このこちら拠点となっておりますイモニー村の福島中央テレビには、ステージが2箇所用意してありまして、こちらで今スタンバイされている方々がいらつしやるといいうことで。さあ、2つ会場が

あるうちのその1つの会場に、もうすでにあの方がスタンバイをしていらつしやるといいうことで。じゃあえいたそさん振っていただいてもよろしくついでいますか？

成：はい！わかりました！いきますよー！涙と笑いの風とロックのご自慢の時間になりました。最初のアーティストはこの方々だ！

ま：どうも〜！四国は徳島県からやって来ましたコミックバンド、四星球です！よろしくお祈りします！(ギターを鳴らす)風とロック芋煮会

今年に配信や放送という形でお送りしますが、ここでひとつみなさんに、秘密を打ち明けます。お教えしましょう、大きな秘密を。この配信や放送の裏方スタッフ、実はずっと四星球がやってましたー！

(段ボールで作ったテレビカメラやガンマイクを持っている北島康

雄、U太、モリスが画面に映る)

ま：撮れますか〜！いい画、撮れてますか〜！

康：いいよ〜。

ま：拾えますか、音！いいですか〜！

康：いいよ〜。ずっと撮ってた。

ま：ずっと撮ってましたね。

康：疲れてきましたね、段々ね。明日もやりますか？

康：明日もやりますか？

ま：声出てなかったですね〜(笑)。

康：松田さん顔に疲れが出てました！

ま：頑張ってくださいようよ！

康：僕らのライブで元気づけましょうよ！

康：引く張って！

ま：下手くそかな、このスタッフ。

れはね音声だけ聴いて想像できるんで。

成：ありがたい。

徳：あの、そうなんです。それであの、風通しの良いところをごさいます。

箭：そうですね。

徳：他にもあのキャンプ場みたいな雰囲気もね。風とロック芋煮会はテント張ってね、楽しんでるんで。まあちよつとその雰囲気もいいうことで、テントがあつたりハンモックがあつたりと。それからLIVE福島の一のぼりもね。

箭：描写もうそんなに(笑)。

徳：ああ、そうですね(笑)。

康：(配信を)見てる人が減ってきている!?

段ボールで小道具大道具がたくさん登場 全てまさやんが作っています

康：(配信を)見てる人が減ってきている!?

ま：インカムからそんな指示が(笑)。わかるんすか!?え、視聴率ガタ落ち!?

康：わかる(笑)。めちゃくちゃ減ってきている(笑)。

ま：ダメやん！ライブやりましようよ！

康：やりましようか！やらせていただいてもよろしいでしょうかね。四星球！はーじまりまーす！よろしくお祈りします！風とロック芋煮会にコミックバンドがやってきましたー！四星球がやってきましたー！1曲目 鋼鉄の段ボールまさゆき」！

(演奏)

康：やってまいりました、「鋼鉄の段ボールまさゆき」！すいませんこちらのほうもお借りしましてありがとうございます。インカムをスワップ(へ返す)四星球のライブでは、段ボールで小道具大道具を作りましたたくさん登場いたします。それ全

い。食べたいですわ。白河、白河ラーメン。

ま：白河も美味しいよ。

康：たくさん今日は段ボール登場します！張り切ってます！

「鋼鉄の段ボールまさゆき」！

(M1：鋼鉄の段ボールまさゆき)

(拍手)

(M2：イントロ)

康：よろしくお祈りします。2

来年に向けての前夜祭！

てください。投げてください。全部煮えたぎって煮え

たぎってお返ししますので。

ちゃんど画面、僕もそこ見えるつもりで歌いますので。

今年残念だったなああって

言ってる場合じゃなくて、もうこれは気が早いんですけど

も、来年に向けての前夜祭！始めさせてもらおうと思ひます「フランク博士と僕」！よろしくお祈りします！

(M2：フランク博士と僕)

このスタッフ下手くそ。

康：面白いこと言ってますか？

ま：面白いこと言ってますか？

康：面白いこと言ってますか？

ま：面白くないこと言ってますか？

康：面白くないこと言ってますか？

ドラマ・モリスくんのノンフィクション 彼がドラムを始めた理由

たいなと思うんですけども。風とロック芋煮会ね、いいことですよ。いいことなんですけど、高齢化がね、出演者の進んでまして。

ま：(笑)

康：すごいいいことですよ。その中でちょっとこう、フレッシュな曲を。

U：ほうほう。

康：キョクキョクするような若々しい曲をちょっと歌いたいなと思いついて。実話を元にした曲があるので、それをやらしてもらっていいですか。実話を、ノンフィクションで作りました。「彼がドラムを始めた理由」。

(M3:彼がドラムを始めた理由)

(途中で演奏が止まる)

モ：ちょっと止まってーちょっと止まってーちょっとーおーいー聞こえてないの!おーいーちょっと止まってー止まってーください。

康：なんなんすか。

ま：ライブやってんねん。モ：ライブやってるのはわかってるんよ。

康：次、次やってかんと、持ち時間も決まっていますし。

モ：この曲、ちょっと恥ずかし過ぎてやめたいんやけどー!

康：え?

モ：恥ずかしいんやけど、さつきから!

康：もっと前に言うてくれんと。セットリストに入ってる時点でやりますから。

モ：だって、めちゃくちゃ言うやん、僕のこと!

康：あの、伝わりましたかね?あの、彼がドラムを始めた理由。ドラム、モリスくんがね、始めた理由がこれノンフィクション、歌にしております。高校生の時に初めて彼女が出来たと。高1ん時でございませぬ、出来た。出来た。彼女がドラムがまあ、上手な子で。ドラム叩ける子だったんですね。で、高校の文化祭が近づいてきます。文化祭が近づいてきて男子たちから

「ちょっと一緒にバンド組もうや」と。で、文化祭出ようや」と彼女が誘われるわけですね?

モ：そうよ。

思春期のモリスくん

康：高校生のモリスくん、思春期です。嫌です、そんなので、モリスくんはちょっと待てと。俺が代わりにドラムを練習して、ドラムを始めて、バンドに入るからと言って、バンドに入り、まあいるんなバンドを経験しながら今、四星球ですつとドラムをやっております!(拍手)

モ：おーい!なんで全部言うん。ま：いい話だ!

U：止めることいっぱいあったやろ。

康：キョクキョクする。

モ：なんで説明するん。なんでわかりやすく説明した?今。

康：え?

モ：言うなって言ったの。恥ずかしいから言うなって。

康：なんか、カンペ出てますねん。

モ：ほんまや。

康：元カノ見てるかもって。今日

来年は現地でもぜひお会い しましょう

康：欲張ったな(笑)。(妖怪泣き笑い/続き)

(拍手)

康：ありがとうございました。四星球でございました。福島もPRも込めてやらせて...あ!ひとつ大事なことを忘れておりました!そうや!ひとつ大事な。福島のPRを込めてやってるんだ。あれがありましたね。(スタッフが大きな白いパネルを持ってステージへ)

康：ありがとうございます。じゃあまさやんさんよろしくお願ひします。

ま：(段ボールで作ったラーメンを持って前へ)

康：はいはい。ラーメンの?その部分を丼の模様、取れるの。(白いパネルに)貼っちゃう。

次。

U：(段ボールで作った赤べこを持って前へ)

康：さつき通り抜けてった、赤べこ。鼻のここ。鼻のここをほうほう。

の配信。思いをぶつけてって(笑)。

モ：見てるかな。

康：カンペ出てるんで、思いをせつかくだってこれ、どこからでも見れますので。見てくれる可能性高いので。

モ：ほんと?せつかくやから。

康：はい、思いをちょっと。1番のカメラにね。ちょっと言ってもらっていいですか。

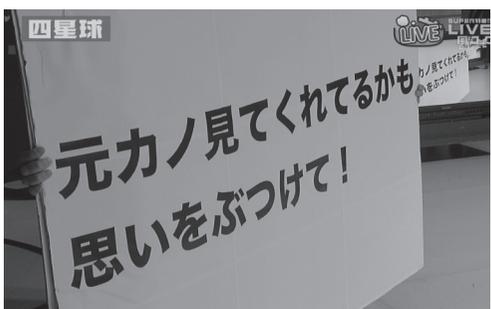
モ：え、風とロックのど自慢有料配信をご覧に...

康：(カンペが)まだあるっぽいですね。

モ：え?

康：「福山雅治さん風に!」

モ：なんやねん、このカンペ。



なんか、カンペ出てますねん

スタッフ...(笑)

U：結構ベタなところ突いてくるな。康：福山雅治さん風に、優しさですよな。やりやすい。

U：そやな、ほんまやわ。

ま：できる?

モ：あーくんちゃん。チイ兄ちゃんです。

康：元カノにだから(笑)。あんちゃんじゃない(笑)。

U：あんちゃんに言うてもしやあないやろ。

モ：俺は小雪のことも好きだけど...

康：福島中央テレビ、たぶん局も違うと思う(笑)。

モ：元カノのほうがドラム教えてくれたから好きです。

U：比べるな、そういうの。

康：しゃくれているのもようわからん(笑)。

モ：あんちゃん、あんちゃん。

U：誰に言うてんねん。

モ：あんちゃん、小雪より元カノのほうが好きです。

康：時間があったくない(笑)。

U：ほんまやぞ。

康：あ(カンペが)もう1枚ある!

モ：まだあるの!

康：「福島のPRを織り交せて!」

モ：むずい!

U：(赤べこの鼻と口の部分を取り、白いパネルに貼る)

康：そうしちゃう。おあ、いいね。そうしちゃう。いいじゃないですか。次は?何?

ま：(野口英世のパネルを持って前へ。野口英世の「口」の文字を取って白いパネルに貼る)

康：野口英世の。口。ちなみに野口英世(この絵はモリスくんが描いております!ロック!まだいける!白いパネルの上空いてるよ!まだいける!)

U：(段ボールで作った桃を持って前へ)

康：さつき出た桃ね!皮剥いちやう。綺麗に剥けたね「と」「と」になってるわ!

「風」はないんじゃない?さすがに。さすがに風はないんじゃない?あ!あった!

ま：(カンペを手前へ)

康：福山雅治さん風に!すげえ!

ま：(カンペの「風」の文字を取って白いパネルに貼る。「風とロック」の文字が完成)

康：「風とロック」!PRしまし



風とロック! PRしました!



もう1枚ある!

ま：(康雄を指差して)めっちゃ欲張るやん。

ま：ライブやってんねん。モ：ライブやってるのはわかってるんよ。

康：次、次やってかんと、持ち時間も決まっていますし。

モ：この曲、ちょっと恥ずかし過ぎてやめたいんやけどー!

康：え?

モ：恥ずかしいんやけど、さつきから!

康：あの、伝わりましたかね?あの、彼がドラムを始めた理由。ドラム、モリスくんがね、始めた理由がこれノンフィクション、歌にしております。高校生の時に初めて彼女が出来たと。高1ん時でございませぬ、出来た。出来た。彼女がドラムがまあ、上手な子で。ドラム叩ける子だったんですね。で、高校の文化祭が近づいてきます。文化祭が近づいてきて男子たちから

U：これは大事やな。ま：大事。

康：福島雅治さん風に、福島のPRを織り交せて、そしてしかもあと10分って出てます!

モ：10分!

康：急ぎで!

モ：あの、桃みたいにフレッシュで、猪苗代湖みたいに綺麗で、ままとおるみたいに優しく、赤べこみたいな顔をして、いる、そんな彼女が大好きです!

北&U&ま：(笑)

康：僕出していい?僕出していい?

U：ええよ。

康：さすがにそれは、ひでえよ。野口英世。

U：説明するなよ。わかりやすくせよ、もっと。お前も(笑)。

ま：(拍手)

康：あ!まさやんに刺さった!

U：刺さった?嘘やろ(笑)。

モ：最後までやるから早く曲に戻ろ!

(彼がドラムを始めた理由/続き)

(拍手)

M4:妖怪泣き笑い)

康：謎かけ思いついたんでやらしてもらっていいですか?「まだ風とロック芋煮会が未経験の方ぜひお越しください」と掛けて「白河ラーメン食べたいな」と説く。その心は「もちろん来た方(喜多方)」も。(拍手)どうでしょう?どうでしょう?拍手ください!拍手ください!拍手ください!拍手ください!拍手ください!拍手ください!拍手ください!拍手ください!拍手ください!

ま：(康雄を指差して)めっちゃ欲張るやん。

ま：ライブやってんねん。モ：ライブやってるのはわかってるんよ。

康：次、次やってかんと、持ち時間も決まっていますし。

モ：この曲、ちょっと恥ずかし過ぎてやめたいんやけどー!

康：え?

モ：恥ずかしいんやけど、さつきから!

康：あの、伝わりましたかね?あの、彼がドラムを始めた理由。ドラム、モリスくんがね、始めた理由がこれノンフィクション、歌にしております。高校生の時に初めて彼女が出来たと。高1ん時でございませぬ、出来た。出来た。彼女がドラムがまあ、上手な子で。ドラム叩ける子だったんですね。で、高校の文化祭が近づいてきます。文化祭が近づいてきて男子たちから

松：プロですよ。プロですけど、

もちろん。

徳：ですから、具のみなさんも一
気が火が通ったんじゃない
ですか？

松：ほんとほんと。

成：すごい熱でしたね。聴いてる
みなさんも。

成：コメントが流れるのが速
い速い。ありがとうございま
す。

徳：LINE LIVE
VIE WINGもみなさん
(コメント欄に歌詞を書き込
むことで合唱してるんです
よね。すごかったです。

松：もう喋れますかね？四星球
の4人。
康：こちら大丈夫です。ありが
とうございます。

成：ありがとう！
松：ありがとうございます！
成：元でんば組(inc)えいた
そがね、いろいろ話したいっ
て言うんで。ちよつとえいた
そから。

成：はい！めちゃくちゃ面白かつ
たです！どうやって考えて
るんですか、これ？
康：あ、それは、話せば2時間く
らいかかりますので、すいま
せん。

う、繋がりで。
モ：ははは(笑)。
松：麺のようにコシもしっか
り強く。お願いします。上手
く言っていないな、俺。上手く
言っていないけど。
康：大丈夫です！それが良さで
す！松田さんの(笑)。

一同(笑)
段ポーターに
ちよつとお願
い
ま：はい、はー！
松：せつかく段ポーター来てく
れるから、ちよつと後でお
願いしたいことがあって。
成：おお？
ま：はい！
松：今お願いしてもいいのかな？
ま：あ、できるだけ早めがいい
すー知つときたいですー
成：いいのかな？あ、後でだつ
てー！
一同(笑)

ま：後で！もつたいぶりませぬ！
康：焦らすなあ(笑)。
松：たぶんね、地上波の時間に無
茶振りしてほしいというこ
とだと思えます。中テレさん。
ま：あるんですね、そういう。わ
かりました。なんか。覚悟し

一同(笑)

成：じゃあ今度でいいので

(笑)、とにかく最高でした！
Twitterフォローしちゃ
いました。面白い！

康：ありがとうございます！

松：昨日の朝、徳島出て、夜着い
たんでしょ？何時頃出て、何
時頃着いたんですか？郡山
に。

康：8時半とか9時、朝出たのは。
で、12時間くらいかな？
ま：8時くらい。

康：20時くらいに着きましたね。

松：わくありがとうございます。
徳：その間もネタの打ち合わせ
とかしたりするんですか？
康：いや、移動中はしないですね
(笑)。移動中してたらたぶん
こんなにバンドも19年続い
てないと思います。

一同(笑)

成：休まれてるんですね。
康：はい、休んでおります。
2022年で
20周年
松：19年だ。じゃあ来年は20周年
康：そうなんです。ありがとう
ござります。

一同(拍手)
松：20周年の前夜祭でもあるわ
ておきます。
松：よろしくお願いします。
ま：よろしくお願いします！
徳：本当に素晴らしいステージ
ありがとうございました！
松：あ、U太くん！
U：はい！

誰調べやねん
松：U太くん、「昨日出てくれて
ありがとうー！
U：いえいえ！すみません、なん
か、夜中。
松：U太くんの家、徳島で一番お
洒落なんじゃない？
ま：(笑)
U：誰調べやねんそれ(笑)。
松：屋根裏なんだ(笑)。
U：そうですね、言い方いい方。あ
りがとうございます。
松：ありがとうございます。この
後も地上波の時間にもお願
いしたいし、その後またスベ
シヤルなお願ひごともある
ので、よろしくお願ひします。
四：お願ひしまーす！
徳：四星球のみなさんはこの後、
午後2時25分、14時25分の
テレビ番組でのライブを披

けです。今年は。
康：すみません(笑)。ありがとう
ございます。箭内さん、なん
かお仕事ください！
一同(笑)
ま：お願ひします！
松：ねえねえ例えばどんなこと
やってみたいと思ってるん
ですか？
康：え！まずはそつち(司会側
に)行きたいですよ！
箭：あ、(こね笑)。
康：でもいろんなことやらせて
もらいたいんです。僕たち、な
んでもやらせてもらいます
ので。言っていただけなら。
松：ほんと？ぜひぜひ。
康：お願ひします。
箭：やりましょ、やりましょ。
松：THBACKHORN松
田です。僕、こつちいて申し
訳ないんですけど。
康：とんでもないです、副委員長
(笑)。
松：バンドとしても(リアルイベ
ントの苦煮会に)出れなかつ
たなという思いがあると思
うんで、その思いが四星球か
ら溢れ出て。たぶんお客さ

露していたかどうかということ、
よろしくお願ひいたします。
箭：四星球はテレビが合ってるね。
成：映えますね。
松：あのステージ、何ステージっ
ていうの？「さすけねぞい」
かな？
徳：「あんがどないステージ」は
い。
箭：「あんがどないステージ」っ
て、行ってみるとめっちゃ狭い
んでしょ？
松：そうですね、そこね。

松：だからあれですよね？四星
球のみなさん今ライブしま
したけど、(こね)でもう。
箭：あ、行けますか？って。僕が
1人で？メガネツインズの
ところに。メガネトリオはや
らないですよ。なんか用事が
あるのかな？ちよつとメガ
ネツインズのところに行っ
てきます(笑)。
成：何これー面白い！
松：配信ですからね、いろいろあ
るみたいですけど。

松田さんはいいや
ちよつと訊つてますね
康：嬉しい。
箭：なんか、救われるよね。主催
者もお客さんも。
松：みんな同じ気持ちだったなっ
ていうのが、すごく共感でき
た気がします。
康：松田さんは他の場所で会う
よりも、ここで会うと訊つて
ますね(笑)。
一同(笑)
モ：たしかに。
U：それはあるな(笑)。

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。



なんかお仕事ください！

松：それ言うなって(笑)。それ
言つちやだめだつぱいって。
康(笑)：白河ラーメン、すよね？
松：そう！モリス！あのさ。
モ：はい！
松：なんか、うどんやってるんで
しょ？
モ：うどんやっつてはないですけ
ど、好きです。
松：(モリスが)うどん好きでさ、
いろいろ食べてるってこない
だ話してて、僕ついに、あの
ね、白河ラーメンPR大使っ
ていう称号をゲットしたん
ですよ。
モ：わあー！いいですねーピッ
タリじゃないですか。
松：で、僕あの、100杯食べて100軒
回つて食べたので、今度もし
ゆつくりまたコロナ明けて
白河に来れる時があれば、お
すすめのラーメン屋、四星球
のみなさんにもたつぷりお
すすめします。
モ：ぜひ！お願ひします！
松：なので、今度、僕らもコロナ
明けて徳島とか行けるよう
になったら、美味しいうどん
紹介してください。
モ：わかりました！任せてくだ
さい！
松：うーんと白河ラーメンのこ
ていたい。
成：一瞬でしたわ。
徳：さあ、この有料配信ではある
プロジェクトが進行中なん
ですよ？
松：はい、そうですね。YouTubeの
ほうから配信をスタートし
まして。4日間72時間で何
かやるつという(こね)で、ライ
ブインテイングを実はや
らせてもつてます。僕自身
CDのジャケットの絵を描
かせてもらったりとかいろ
いろ、絵も携わつてきたこと
もあつたので、やるつってい
うことなんですけど、ネット、
テレビ、新聞で駆け抜ける72
時間の間で、巨大絵画を完
成させようと思つてます。で、
こちらが。
成：素敵ー！
松：でね、箭内さんから「風」と
いうテーマをもらったので、
まだ途中というか完成まで
はいってないかもしれない
んですけど、今一旦ちよつと
こんな感じで動いております。
成：風感じますね！

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。

成：ワクワクするねえ！
箭：(マスクをして離席する)
松：じゃあ、行つてらっしゃいま
せ。
箭：うん。行つてきます。
松：それで、今さっき一瞬、四星
球のみなさん映りましたけ
ど、もう一旦(こね)で四星球の
みなさんとはお別れという
ことで。
徳：そうですね、はい。
松：また次のテレビ番組のほう
でもお会いできるというこ
とで。

18歳まで過ごした青い気持ち

松：まあ、ただ、絵なんです。ここで終わりですってなる可能性もありますし、また何かこう生まれてくるかもしれないです。これから先の時間を感じながらまた、絵にしているのかななんて。

成：めちゃめちゃ生き物じゃないですか！

徳：すでにイメージはできてるんですか？それともどうなんでしょうね？

松：正直、最初の3時間くらいずつとこで、YouTubeの配信をやってる横で、白いキャンバスと向き合いながら想像の世界に入る時間が2時間ありました。

成：めちゃくちゃアーティストじゃないですか！

松：自分でもよくわからなくなりました。

成&徳：(笑)

松：何やってるんだろ？いろんな自問自答して。まずはその、なんたるな、福島の僕のイメージのひとつでもある、青。青い空であり、自分が18歳まで過ごした、青い気持ちというのもあるのかもしれないですけど、ノスタルジックな部分っていうのも。

成：わかります。

松：ありますよね、えいたそさんね。

成：ありますあります。青い時代。松：町でこう、感じたね。青い気持ち。それが繋がってるし、この風とロックの箭内さんからもらったテーマの(風)っていう流れで、あの、止まっているものはないなって思ってる。悲しみも苦しみも、いろいろ起きたことも、喜びも、それが全部動いていくのが風だと思っただけ。いろんなこの状況も、芋煮会ができなかった状況っていうのも、動くことで新しい番組が生まれたり。

松：でもそれが自由でいいですよ。音楽もそうですけど。絵も、何描いても自由だし。そういうのはすごくいいなあと思ってますけど。

成：いい絵だなあ。

松：そんなこと言ったら、そろそろ次のアーティストに行くんじゃないですか、これ。箭内さんもういなくなってる。松：そうですね。松：箭内さんどこ行ったんですかね？



成瀬「風、感じますね！」

松：でもそれが自由でいいですよ。音楽もそうですけど。絵も、何描いても自由だし。そういうのはすごくいいなあと思ってますけど。

成：いい絵だなあ。

松：そんなこと言ったら、そろそろ次のアーティストに行くんじゃないですか、これ。箭内さんもういなくなってる。松：そうですね。松：箭内さんどこ行ったんですかね？

成：なんの準備してらんですかね？

松：なんの準備してらんですか。ちょっと気になるところです。たぶん次のアーティストのライブに関わりがあるから行ったんじゃないかなとは、僕は思っています。

徳：そこらへんがね、どうなのか、この後結ばばわかるのかな？

松：わかるのか、ちょっと早めに結んだほうがいいのか。

徳：なるほど。

松：だからアーティストとアーティストの間も、余韻をみんなも、僕らと一緒に、コメント欄で語り合ったり、想像してもらったりいいかもしれないです。

芋煮を囲んで

感想を話し合える

松：でもこうやって、なんて言うんですか。いろんなア



もうひとつのキャンバスは藤井くん

る「ついでに彼はこれで終わった。たぶんどこかのタイミングで完成が来るなって。成：自分の中に答えがあるんですね。

徳：松田さんの絵はもうこれで完成と言われれば、たしかにひとつの完成形も見えますもんね。松：そうですね。ただ「おい松田、お前おいちよつとそれ逃げたな」ってツッコミがこないだあって(笑)。難しい、判断がだからもし最悪72時間で終わらなかつたら、NEXTというか、風のようにまたこの絵は次に繋がっていくというので、完成とは言わずにまた

実はえいたそ

成：あの、宣伝じゃないんですけど、実はえいたそ今日から絵の個展をやっております。(笑)。松：ほら！

徳：あら！

成：アクリルで描かせていたです。

松：どこでやってるんですか？

成：東京の早稲田なんですけど。

風とロックがきっかけで生まれたユニット

メガネツインズ

成：ご飯とか食べつつね、みんなね。松：なんだ。成：なんだ。なんだべしたこれね。飲み物とかもちやんと飲まない。んなあ。

徳：(笑)

松：いいぞいいぞ(笑)。

成：いいタイミングで次のライブでね、全力でね、盛り上げましょう。

徳：ぜひね、Twitterとかでもね、つぶやいていただくとさらに知らない人とも繋がりが生まれてくるかもしれないので。この後の芋煮会、じっくり煮込まれていただきたいと思えます。さあ、続きましてそろそろいきましようか。えいたそさんお願いします！

成：「涙と笑いの風とロックのど自慢」一続いでのアティストは、風とロック芋煮会がきっかけで生まれたユニットの登場です！

高：はい！福島のみなさん、そ

成：素晴らしい。松：えっとですね、インディーズの、僕らがバンドを結成してすぐの頃、CDを作った時に自分たちの思いをジャケッに残したかったので、絵を描き始めて。やっぱりその、基礎的な技術を学校で習ってるとかではないので、とにかく想像で描くみたいな、独流でやっています。

松：でもこうやって、なんて言うんですか。いろんなア

松：だからアーティストとアーティストの間も、余韻をみんなも、僕らと一緒に、コメント欄で語り合ったり、想像してもらったりいいかもしれないです。

成：「涙と笑いの風とロックのど自慢」一続いでのアティストは、風とロック芋煮会がきっかけで生まれたユニットの登場です！

高：はい！福島のみなさん、そ

メガネ掛けるから入るじゃないですか メガネツインズは拡張していく

てるわけ、これ。3箇所にはない。

高：そうそう。じゃあ、出来ないのかなって思ったら、箭内さん来てくれるというお話聞いたので。

箭：急に呼び出されたからなんのことだろうと思ってね。

亀：びっくりしたでしょ？

箭：びっくりしました(笑)。

高：無茶振りかなあと思って。でもね、箭内さんと、こういう形で今日みたいな形だから、こういうことが出来るかなと思って。

箭：うん。

高：たしかに。

箭：嬉しい。

高：メガネツインズライブだったから、箭内さんはね、もう引つ張りだこですから。

箭：いえいえ、そういうわけじゃない(笑)。

高：ステージ上に箭内さん呼ぶっていうのはなかなか。

亀：難しいかもね。

箭：する側だからね、こっちはね。無茶振りする側にはびっくり

なってるから、されるのは新鮮です。

亀：とは言え、箭内さんも、メガネだよ。

高：そうですね。それはもう、盲点でした。

箭：はははは(笑)。

亀：「盲点って」いう曲が出来そうだね。

箭：盲点なの？

高：灯台下暗し。一番近くの人がメガネ掛けてたじゃないかと。

亀：ほんとだ。僕らにとっての「ファーザーですよ。OHファーザー」。

箭：は。

高：(笑)

高：もうと言え、この番組72時間やってるじゃないですか。YouTubeで僕ちよこ

ちよこ「見させてもらってましたけど、福島民報の沢井さん、

メガネだ。

高：もう沢井さんの番組って言うくらい、すごいお話しされてましたよね。

箭：あのね、みんなが疲れると沢井さんが出てくる。

亀&高：(笑)

亀：救世主だ。

高：僕が見てる時、沢井さんずつとお話してたんですけど、メガネツインズの話して、

来て。したら、たぶん、

てる人が「沢井さんもメガネ

掛けるから、メガネツ

インズ入れるじゃないです

か「みたいね。そうだった

場合、メガネツインズ・ネ

オだな」っておっしゃって

たんですよ。

亀&箭：(笑)

高：だから沢井さんが入ったら

「メガネツインズ・ネオ」で

3人組で。

亀：どどんあれだね。というこ

とは、メガネツインズは拡張

していく？

高：結構方々でね、ごく一部でメ

ガネツインズ好きな人結構

いるんですよ。今初めてご覧

になられてる方たくさんい

らっしゃると思いますけれ

ども。

亀：うん。

高：メガネツインズ好きって言っ

てくれる人、1000人に

1人くらいいる。

亀：はははは(笑)。

箭：もうちょっといるよ。たくさ

んいるよ。

高：1000人に1人だったら

1億人で…。

箭：そっか。

高：すごいじゃないですか？

箭：10万人くらい？

高：10万人くらいいるってこと

じゃないですか。10万人はい

ないか。

亀：えっ、いるよ。

高：10万人いるかな？

亀&箭：(笑)

高：えっ、いるよ。

高：10万人いるかな？

だと思えます。

亀：あら。

高：映像でメガネツインズ出ると、たぶん初めてだと思いま

すよ。

亀：動くメガネツインズ？

高：動くメガネツインズ。まあな

んか、撮ってもらったものを

過去に放送してもらったの

はあったかもしれないけど。

箭：たしかに生でね。

高：生でメガネツインズが映像

でこうやって、公の場に立

つていうのは初めて。

箭：しかもラジオ福島でも、ラ

ジオでも県内流れてます。

亀：おーラジオでも流れてるん

ですか。

高：じゃあ黄色い服のくだり全

然わからなかったですよ。

ごめんなさ。

亀&箭：(笑)

高：我々、黄色い衣装で登場しよ

うと思っただんですけど、僕は

オレンジ色の服を着てます。

箭：あの、ラジオ福島のアナウ

サーの方が全部フォローし

てくれてると思います。ラジ

オでは。

高：ありがたいですね。

箭：紅白歌合戦のラジオの中継

とかあるじゃない。ああいう

感じじゃないですか。「今ステージの上には小林幸子さんの姿が」みたいな。亀：そうそう、スポーツ中継とかも違うもんね。ラジオとテレビだとね。高：想像力を掻き立てるような実況をしてくださってるわけですね。箭：と、思います。高：どんなふう想像してくれてるのかな？メガネツインズをね。ラジオで聴いてくださってるみなさんも。亀：さつき僕、講義してきたんだけど。高：はい。亀：講義の時に一番始めの頃の優くんが震災の直後に「福笑い」を歌ってる映像が流れて。でね、ひどかったよみんな。「高橋若いな」ってみんな。箭：ははは(笑)。高：今日ね、怒髪天さんに久しぶりに会ったんで、ご挨拶に伺ったんですよ。ソーシャルディスタンスを保ちながら「どうもご無沙汰しま

す」って言ったら、「なんか優くん、老けたな！」って一言目がそれでした。亀：(笑) 高：そんな老けたかなあ？ 亀：挽回しようよ、今日。メガネツインズで。高：挽回できるかな？(笑) 箭：一番変化のある世代なんじゃない？この10年って。亀田さんとか俺とか、前からおじちゃんだからさ。亀：たしかにたしかに。 箭：おじちゃんのままだけど、10年経っても高橋は若者からおじちゃんになったっていうか。 高：風とロックの中では、わりと若手みたいな扱いしてもらってますよね。まだ。 箭：末っ子みたいな感じだよ。 高：そうですね。たしかに、さつきやってた四星球とか年齢は僕よりちょっと下かな？同じか下か。同じくらいか。だんだん下の人たちも増えてるんですよ。 亀：いいことじゃない？ 高：いいことだから、いいことなんだけど、風とロック的には末っ子的に扱ってくれるから。

高：昨日もね、俊美さん出てその話をずっとされて。全国どこ行っても俊美さんを慕ってる人がいると。男として憧れるって。沢井さんとかその話してた。俺もなれるかなあ？って思っただんですけど、なれないなって思いましたよ。 亀：なんで？ 高：そんなないもん、包容力とか。 亀：ある。 高：ないない。 箭：結構だつて、ひとりぼっち秀

吉BANDとかさ、若者みんな、優さん優さんって言うよ。高：俺1回も聞いたことないですけど。 箭：聞こえないだけだよ(笑)。 亀：みんな、優くんはその声届けよう。 箭：チャット欄もしくはTwitterに。 亀：優しいって書いて優だから。高：そうですそう。僕の自己紹介はいつもそうしてます。優しいと書いて優と申します。どうも高橋優です。 亀：(笑) 高：優しいですね、なんて言われたら、毎回そう答えます。 箭：まあでも、メガネツインズの時の高橋って、何か違うリラックスしてるよね、いつもとね。いつもリラックスしてるんだけど。違う緊張もあつて。 高：そうですね。 箭：亀田さんの包容力と、なんかこつ不思議な、どっちが教師先生かわからない感じ。こ

れい。 高：そうですね。 箭：10年前こんな感じだったよ、ずっとね。 亀：そうなんだ。 高：外見ばかりおっさんみた



箭内「急に呼び出されたからなんのことだろうと思ってね」

亀田さんの包容力と、 高橋のいつもと違うリラックスさ



高橋「じゃれ合えてなかったんで、僕の人生」

いになっちゃって、まずいな。俺。

箭：なってないよ。

亀：ちなみに10年前のあれだよね？野馬追の南相馬で、僕は優くんを声を掛けたんだよね。

高：そうですね。植村花菜さんと一緒に絡られてて。

亀：そう。植村花菜ちゃんと俺来ててね。その時初めて会った。

高：その時「優くん〜」ってこの手の振り方でした。(胸の前で手を振る)

箭：手を体のそばで振るんですよ？

高：そうですね。それ見るとやっぱりもうじゃれたくなる。

亀：(笑)

初めての歌唱活動

高：あ、亀田さん〜！ってなるっていうね。メガネツインズだけですよ。一応普段1人でやっていますから、僕。

箭：(笑)

高：初のグループ活動なんです。亀：そうですね。俺は初の歌唱活動よ。

高：それが嬉しくて。亀田さんと

我々の持ち時間、あと5分です まだ1曲しかやってない

高：だからベースリスト亀田誠治っていうのはもちろん椎名林檎さんだったり、東京事変

だったり見てましたけど。それと「亀田だ亀田だ〜」っていう亀田さんの声が一致した時に、これはもう運命だなと。

箭：いいねえ。

亀：いいですね、いい話みんな今日、結成前の話が聞けちゃったね。

高：そうですね。メガネツインズ秘書。さ、あと、5分です。我々の持ち時間。

箭：はははは(笑)。

高：持ち時間もう喋りすぎだ。これがあのメガネツインズパターンですから。ツアールも全部このパターンでやってます。

高：まだ1曲しかやってないですからね(笑)。

亀：はははは(笑)。

高：トークで自己紹介みたいなことしましたけれども、最後にお届けする曲は(笑)、メガネツインズを自己紹介する

高：まだ1曲しかやってないですからね(笑)。

亀：はははは(笑)。

高：トークで自己紹介みたいなことしましたけれども、最後にお届けする曲は(笑)、メガネツインズを自己紹介する



亀田「結成前の話が聞けちゃったね」

(拍手)
高：ありがとうございます。

亀：ありがとうございます！

高：次はぜひ、またあの会場で、直接届けられることを僕らは楽しみにしています。また会いましょう。メガネツインズでした。

亀：みんなで会いたいね。元気でね。またね。ウエイ！

(拍手)

成：よかった！

高：ありがとうございます、そこ行ってたんですね。

成：ええ！謎が解きましたね。

高：ね、いなくなっと思った。俺は

徳：箭内さん、ちょっと聞き役に回ってただけで話、あそこまで広がったり弾んだりして、

わずか2曲の間のトークが弾む弾む。

成：トーク楽しかったですね。

高：メガネツインズのライブを

箭内さんと一緒に見たことあるんですよ。箭内さんと2人でゆべしという

ユニットもやらせてもらってるんで。「俺たちと全然違うよな」とか言いながら(笑)。

メールの紹介です

松：ありがとうございます。えいたそさん、なんかあれですか？メールとか来てるんですか？

徳：えいたそさんからちょっとご紹介していただきますしよ

成：はい！神奈川にお住まいの。神奈川からありがとうございます！デルオさんから来てます。2012年の3月のLIVE福島で高橋さんと亀田さんのステージを見て、その後羊煮会でメガネツインズのステージを欠かさず見えています。ありがとうございます！

高：ありがとうございます！「包み込むように亀田さんのベースとコーラスが、高橋さんの歌声に

マッチしていて最高です。全楽曲大好きです。」(亀田と高橋のステージが映る)

成：あれまー！

高：箭内さんはどこ行ったの？

松：箭内さんさっ向かってるんじゃない？

高：急にいなくなって、あれ？って思ったら、そっちのステージに行ってたのね。

高：ちょっと呼んじやいました我々が。あー帰ってきた。あー帰ってきた。あー帰ってきた。

の出会いには僕は、椎名林檎さんのライブDVDを買って見た時だったんですけど。亀：ははは(笑)。

高：そのDVDの中で、あれどこでしたっけ？町。

亀：宇都宮。

高：宇都宮の中で、亀田っていう名前のお店がすごいたくさんある映像が謎に映るんですよ。

箭：うんうん。

亀田だ亀田だ〜！

高：椎名林檎さんのライブなんですけど、全然関係ない感じが「ここにも亀田があった〜」「ここも亀田だ〜」っていうシーンがあつて。なんだろう？この声の人、すごいいい声と思って。椎名林檎さんのライブはめっちゃ見たいけど、その映像はそこ何回も繰り返し見てたんですよ。僕は

その時、まだ高校生が大学生とかそのくらいですよ。その時から僕は亀田さんの声に惚れてたんですよ。

高：ミュージシャンとして俺を声で認識してたってこと？

高：そうですね。

亀：ありや〜！

高：まだ1曲しかやってないですからね(笑)。

亀：はははは(笑)。

高：トークで自己紹介みたいなことしましたけれども、最後にお届けする曲は(笑)、メガネツインズを自己紹介する

高：まだ1曲しかやってないですからね(笑)。

高橋優さんも若いですよ メガネの縁がだんだん細くなっただけ

かもね。瞬間最大風速的に。高：もうそこは相乗効果で。

高：はははは(笑)。そうだった時は乗ってかっつ。

高：そうだった場合は高橋優もきつと頑張ると思う。負けてられない！って。

亀：いいねえ。

高：東京事変とツーマンやりた

りね。

高：おお！

高：亀田さんが両方出てるって

いう。

高：すげーこと起きますね。

高：すこしかカリリだね、これ

です。はい。

高：最高でした。

徳：LINE LIVE VIEWINGの中でも、コメント欄でやっぱりレスポンス

一緒に歌って、盛り上がりつつく

ださる方も多くて。成：盛り上がりつつました。

(拍手)
高：ありがとうございます。

亀：ありがとうございます！

高：次はぜひ、またあの会場で、直接届けられることを僕らは楽しみにしています。また会いましょう。メガネツインズでした。

亀：みんなで会いたいね。元気でね。またね。ウエイ！

(拍手)

成：よかった！

高：ありがとうございます、そこ行ってたんですね。

成：ええ！謎が解きましたね。

高：ね、いなくなっと思った。俺は

徳：箭内さん、ちょっと聞き役に回ってただけで話、あそこまで広がったり弾んだりして、

わずか2曲の間のトークが弾む弾む。

成：トーク楽しかったですね。

高：メガネツインズのライブを

箭内さんと一緒に見たことあるんですよ。箭内さんと2人でゆべしという

ユニットもやらせてもらってるんで。「俺たちと全然違うよな」とか言いながら(笑)。

高：まだ1曲しかやってないですからね(笑)。

亀：はははは(笑)。

高：トークで自己紹介みたいなことしましたけれども、最後にお届けする曲は(笑)、メガネツインズを自己紹介する

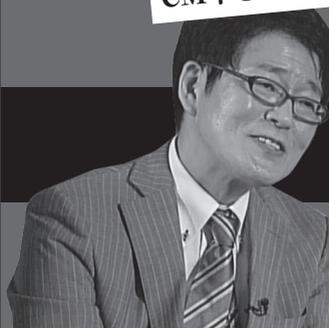
高：まだ1曲しかやってないですからね(笑)。

亀：はははは(笑)。

CM中もノンストップでトークを展開

福島中央テレビ」で 同時生放送!

有料配信をご覧のみなさんはCM中はテレビの裏側をお楽しみいただけるということで。CM中もノンストップでトークをね、はい、展開していきますので見比べながらお楽しみいただきたいと思います。



たな」って。

箭：メガネ掛けとけ、掛けとけ。

成：メガネインズだからね。

高：(メガネを掛け直して)メガネツインズだから。

松：いや、すげー面白い。久しぶりに会って腹痛いんです(笑)。

亀：(笑)

箭：この後、地上波にも登場するんでしょ?

徳：そうですね。もう1曲歌っていたらいい。はい。またよろしくお願います。

亀：ありがとうございます。

(画面越しで手を振り合う一回)

箭：亀田さんの手の振り方。

成：可愛い(笑)。亀田スタイル。

徳：LINE LIVEでも「高橋優さんが見かけた亀田さんのそっくりさん、連れてきてほしかった」というメッセージも来てましたよ。

成：見てみたいですよ。

徳：たしかに見たかったなって(笑)。

松：どれくらい似てるかね(笑)。

霧：雰囲気とかね。

徳：ということでメッセージもね、お時間がある時に読み上げるかな。

箭：そうですね。ただのオンラインじゃなくて去年の6時間が今年72時間になって、オンラインだけじゃなくてラジオ、テレビ、新聞、地元メディアを始めて、全国のメディアが力を合わせてこんなことができるんだって、そういう時間をつくりたい。そんなふうにして、もう木曜の夜から始めてます。はい。

徳：そしてみなさん、LINE LIVEでも有料配信で見ていただけます。このテレビ放送終了後も、実は今お話ありましたように、夜7時まで有料配信続いておりまして、LINE LIVEでも有料配信で見ていただけます。今からでも間に合いますので、テレビ終了後も見たいという方はぜひ、こちらLINE LIVEでも見ていただけます。Rakuten TVでは、Rakuten TVでご覧いただきたいと思っております。それではまず、お伝えするのはこちら。名付けて「ろっくんろーる横丁の今を訪ねて」で

1時間30分に渡る スペシャルプログラム

箭内道彦です。え、今年中止は本当に残念ですけど、去年に続いて、楽しい時間を作りたと思っています。

徳：よろしくお願います。箭内さんは福島県のクリエイティブディレクターでありまして、猪苗代湖ズのメンバーとしてもみなさんお馴染みだと思えます。さ、続いてお隣、お願います。

松：はい。え、風とロック芋煮会実行副委員長、そしてTHE BACK HORNドラマ、福島県猪苗代出身松田晋二です。よろしくお願います。

徳：よろしくお願います。

松：いや、でもこの4日間楽しみたいですね、みんな。はい。

徳：そうですね、今日はこちらにも来ていただいています。

成：はい、福島県郡山市出身！スーパードルムのえいたそこと、成瀬瑛美です！よろしくお願います！

松：今年ならではの芋煮会を楽しみたいと思えます。

徳：そして、今日はこちらにも来ていただいています。

松：はい、福島県郡山市出身！スーパードルムのえいたそこと、成瀬瑛美です！よろしくお願います！

徳：今年ならではの芋煮会を楽しみたいと思えます。

成：そして、今日はこちらにも来ていただいています。

松：はい、福島県郡山市出身！スーパードルムのえいたそこと、成瀬瑛美です！よろしくお願います！

徳：今年ならではの芋煮会を楽しみたいと思えます。

月刊風とロック

の深夜の音楽番組「二畳半レコード」のMCにも今年から就任していらつしゃいます。松&成(拍手)
成：はい！見てねー！生放送もやるよん！
徳：そして風とロック芋煮会では、芋野球を担当しております。福島中央テレビの徳光です。よろしくお願います。
松&成(拍手)
松：徳光さん！
箭：徳光さんのねほんとにあの実況がすごい。ありがたうございませう。
徳：いやいや(笑)。ありがたうございませう。
箭：ほんとにもう、1年かけて勉強してるからね、芋野球を。松：すごいなあ。
箭：すごいんですよ。
徳：ですからね、またぜひね、芋野球、機会があればね、開いてほしいなというふうに思いますけども。さ、番組冒頭でも紹介しましたように、毎年、秋の福島で開催されてきた風とロック芋煮会が、今年も新型コロナウィルスの影響で中止となってしまいました。去年に引き続きオンラインで開催ですね。

箭：そうですね。ただのオンラインじゃなくて去年の6時間が今年72時間になって、オンラインだけじゃなくてラジオ、テレビ、新聞、地元メディアを始めて、全国のメディアが力を合わせてこんなことができるんだって、そういう時間をつくりたい。そんなふうにして、もう木曜の夜から始めてます。はい。
徳：そしてみなさん、LINE LIVEでも有料配信で見ていただけます。このテレビ放送終了後も、実は今お話ありましたように、夜7時まで有料配信続いておりまして、LINE LIVEでも有料配信で見ていただけます。今からでも間に合いますので、テレビ終了後も見たいという方はぜひ、こちらLINE LIVEでも見ていただけます。Rakuten TVでは、Rakuten TVでご覧いただきたいと思っております。それではまず、お伝えするのはこちら。名付けて「ろっくんろーる横丁の今を訪ねて」で

中継

ひとりぼっち秀吉BAND ろっくんろーる横丁の 今を訪ねて

～野沢民芸～

VTTRのNA。ろっくんろーる横丁とは、風とロック芋煮会を食や文化で盛り上げてきたお店たち。なかでもミュージシャンたちが店員となり交流する姿は、「世界一アーティストとお客さんの距離が近いフェス」と言われる所以です。さらに福島が誇る地元ならではの美味しいものもたくさん提供されています。
徳：福島県在住のひとりぼっち秀吉BANDが県内を移動

しながら、代わりにろっくんろーる横丁を楽しみそして元気づける中継です。ひとりぼっち秀吉BANDのみなさん！
秀&ヨ&ホ：はい！
松：赤べこだ！
秀：ご覧ください。たくさん民芸品が並んでいます。そして、そして、風とロックのシンボルにもなっているヘッドホンをした赤べこも、この後のテーブルにあるんです。あるんです。はい。はい、この赤べこを作っていただいた西会津町の野沢民芸に来ています。ひとりぼっち秀吉BANDの秀吉です。
ヨ：はい、ヨギです。
ホ：はい、ホリです。
秀：どうも。そして、そして、そして、絵付け師の早川さんに、お休みのところ、来ていただきまして。ご無沙汰しております。早：お久しぶりです。
ヨ：よろしくお願います。
ホ：このね、ヘッドホンをした赤べこ。すごく人気だと先ほど



ヘッドホンをした赤べこ

もね、お聞きしたんですけど、どうですか？
早：そうですね。もう今実は買えない商品というふうにならわっているぐらいに、人気あります。
ホ：ちょっとこの。(ヘッドホンをした赤べこの首を揺らす)
ヨ：もうノッてますもん。
秀：ヘッドホンをしてノッてる。ヨ：これ赤べこだけじゃないんです。作ってらつしゃるものは。
早：あ、まあ、全国の民芸品っていう形で作ってますね。
秀：そしたらヘッドホンをした赤べこ、箭内さんのサインを。早：そうですね。

同時
生放送

四星球

します。では、えいたそさん
お願いします！

成：はい！「涙と笑いの風とロックのど自慢 on中テレ」最初のアーティストはこちらの方々です！

紹介VTRのNA：風とロック芋煮会にミックバンドという新しい風を吹かせている、四星球。全国のプロフェッショナルに引けず、ライブでは自作の段ボールアートで会場を盛り上げています。今回はどんなライブパフォーマンスが見られるのか？

feat・箭内さん

康：はい。四星球です。というか、四星球フィーチャリング箭内さんで、今日はお送りいたします(笑)。
ま：ありがとうございます。
康：箭内さんですよ？
箭：？..あんがどない。
康：(笑)。箭内さんですね、はい。よろしくお願いします。ライブハウス音頭〜イエイ！せっかくのテレビ放送です

ので、僕たちが好きなライブハウスの歌をやらせてくださいーライブハウス音頭！

(ライブハウス音頭)

康：ありがとうございます！四星球フィーチャリング箭内さんでしたーありがとうございます！ゴジレchu！

一同：(拍手)
德：四星球のみなさんでしたー！
松：いや、箭内さんいた箭内さんいたわ。
箭：俺、ライブで自分が抜かれたかと思っちゃった。
成&德：(笑)
箭：いろいろ調べてるね、最後の



「箭内さんですよ？」

のかな。愛をもって活動しているから。
成：そのためならいくらでも頑張れちゃうっていうのがありますね。
箭：俺なんかえいたそを見てると涙出ちゃう時あるもん。

えいたそのユニフォーム姿

成：そんな〜！嬉しいな、ポリポリ。
箭：本当にいや本当本当。
成：ふふふ(笑)。
箭：そーなんだよねえ。
松：わかる。なんかあの、なんだっけチアで、チアの隣で一生懸命踊ってくれた時あったじゃないですか。
箭：あの時泣いた。あれ泣いたよ。
松：ユニホーム姿で。
成：着ましたね。
箭：またね、そういうこと言われている時のえいたそも好きなの。
松：ははは(笑)。
成：どんな感じですか？
箭：あのね、まあなんか知らないふりして。
松：なんか遠く見たりとかして(笑)。

段ボールへお願い ゲートとかなんか作って もらえないかね

「ゴジレchu！」とかさ。
德：夕方の地元番組なんですよね。
成：地元民は湧きます。
箭：やっぱりアートの、なんていうのかな。リサーチですね。観察力。はい。でね、四星球せっかくだから、段ボールもいるんで、段ボールもいり広場村役場を段ボールでなんかこう、ゲートとかかなんか作ってもらえないかね？この配信が終わるまで。

松：いいね。
康：段ボール？段ボール。
ま：はい。
箭：いい？まさやん。
康：聞いてました？
ま：彩るゲートを。
箭：うん、ここに何かアートをちょっと作ってほしいなって。成：すごーい！
ま：よくわかんないですけど、任せてください！
箭：(笑)
康：わかんない(笑)。
ま：ノープランですけど、任せて

ください！

箭：よろしくです！
松：やった〜！
德：お任せします！
ま：何か作ります！
德：完成が楽しみです。さあこの後は風とロックで生まれたユニットが帰ってきました。(カメラに寄って自分の顔をつまむ高橋が映る)

CM中つゆ

一同：(笑)
松：ノッてるな(笑)。
德：ということで、地上波はCMの時間帯になっております。松：優さんちよつとノリノリですね。
箭：今日の高橋優は懐かしいっていうか、見たことないっていうか(笑)。すごーいね。あとやっぱりこれテレビだからこのカメラワークとカット割り、そこに対する演者の動きってあるじゃないですか。
松：ありますね。

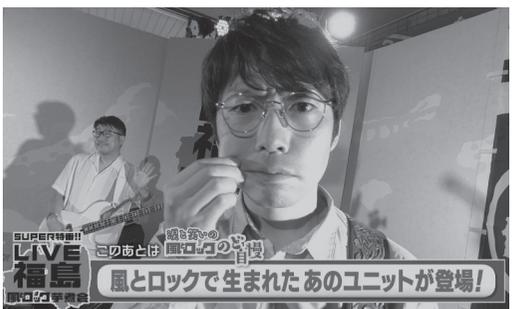
京事変のベースリストとして、また名プロデューサーとして活躍する亀田誠治さんのユニット、メガネツインズ。10年前のLIVE福島の相馬会場で出会ったことがきっかけで生まれました。そんな2人が福島に帰ってきました。

(メガネが割れそう)

(拍手)
箭：もうこの2人のびのびしてるね。
成：いい空気感だ〜！
箭：やっぱり、福島の何か、力でしょうね。
德：絶対そうだ。
德：まりこさんからは「色気すごい」というメッセージが書き込まれてました。
松：溢れ出てますね。
德：さあ、この後はBRAMAN TOSHILOWさんの登場です。風とロックに「鬼」が来る!?見ればわかる。
箭&松：ははは(笑)。

CM中つゆ

箭：これこれこれこれ。
德：今、地上波ではコマーシャル



松田「ノッてるな〜(笑)」

箭：だからライブでは見ることができない面白さもありますね。
松：それは素敵魅力。なんかいいですね。
成：みんなプロ。
德：それにしても四星球は本当に面白いですね。
松：やあ、素敵ですよ。
成：涙が出ました、笑いです。人を楽しませるって気持ちがんばると。
箭：だからと共通してるでしょ？えいたそ。
成：ちよつとわかるんですよ、うん。
箭：なんかやっぱり笑顔を作りたいって思ってる、なんて言う

映像ならではの醍醐味

箭：たぶん今日は、四星球のモリスとかも映ってたんだけど。今日初公開なんですよ。
德：あ、そうですか！
箭：違うかな。これは違うか。2タイプあったうちのもう1タイプが初めてなんです。
德：一応2日間ぐらい撮ってたんですよ？
箭：1日で撮れちゃったんで。はい。(マキシマムザホルモンのナフちゃんが来てくれてね。
德：初日は宮崎あおいさんがね、ステージにも登場してくださってるね。はい。
箭：でもこうやって見るとさっきほら「風とロックに鬼が来る」とかって出てCMになっただけ、ああいうのもやっぱりテレビにならばの映像ならではの醍醐味だね。

成：そうですね。めっちゃ面白い。スタッフ：すみません。CM明

同時 生放送 メガネ ツインズ

成：はい。「涙と笑いの風とロックのど自慢 on中テレ」！次のアーティストはこちらの方々です。
(紹介VTR)
紹介VTRのNA：シンガロン、グライター、高橋優と、東



「この野球にお金払って見に来てるっていうのが考えられないですからね」

けなんです、TOSHIILOWさんがまだ準備できてないようで。

松：どうした、TOSHIILOWスタッフ…芋野球を先に。

成：おっと。わかりました(笑)。古田さんが来るってこと？

成：鬼がまだだ。スタッフ…まず芋野球のVTRがありまして、その後ZOOMで古田さんと繋ぎます。

成：はい。スタッフ…その後準備でき次第、TOSHIILOWさんのほうにいくという形です。

松：TOSHIILOWどうした。松…なんか機材とかですかね。徳：コマーション中にですね、ええとまあ生放送でございませので、これちよっとね。

徳：裏側がね。徳：アーティストの順番が。徳：変わりました。

徳：まああの順番のわかってないみなさんなので。順番が変わったのは実はあんまり関係なかったという。

松：こういうのが聞こえちゃうのも面白い。

成：面白い！ スタッフ…すみませんーやつぱり元に戻りました。

松：戻りましたか(笑)。松：間に合いましたかね準備がさす。

松：よかったよかったです。松：TOSHIILOWくん、合わせてきたね。

松：これはテレビでは見られない貴重なものをLINE LIVE VIEWING、Rakuten TVの方々がご覧いただいていますよ。

松：テレビのほうはね、もう秒刻みで動いてますからね。徳：そうですねですよ。松：すごいね。

成：頑張ってるよー！ スタッフ…50秒前です。成：元に戻った。

松：TOSHIILOWが福島県の地上波に生で登場する。松：初めてですか？

徳：生は初めてじゃない？ 徳：かもしれないですね。松：わかんない。何が出るかわかんないよ。

成：自己紹介で違う名前を言うだろうし。徳：(笑)

松：前ラジオ福島で放送禁止用語を生で言ったからね。成：本当ですか、大丈夫かな？

(笑) 徳：この順番通り出られるかどうか微妙だったのも、実は何かを用意していたからかもしれませんでしね。

松：何か、何か言う可能性はある。でもまあ言わないかも。徳：じゃあえいたそさんからのまま直でお願いします。

成：「涙と笑いの風とロックのど自慢 on テレ」ー続いているアーティストは、こちらの方です！

同時生放送 TOSHIILOW

紹介VTRのNA…激しいライブパフォーマンスで知られる

ロックバンドBRAHMAN / OAUのヴォーカル、TOSHIILOW。震災後、何度も仮設住宅を訪れ福島に笑顔を勇気を届けてきました。

コロナ禍でも音楽の火を灯し続けるために、日々新しい私たちの音楽スタイルを届けています。

T：全国、まん防(まん延防止等重点措置)とか、緊急事態宣言とか、なんかあくせくしてますけど、俺は10年前この県から出た緊急事態から

ずっと緊急事態です。社会を問え。自分を問え。過去を問え。未来を問え。権力を問え。己を問え。鼎の問(かまど)

(M：鼎の問) 一同：(拍手)

徳：いや、何かじんと来ますね、これね。松&成：うん。

成：言葉が出なくなりました。徳：あの、メッセージでもこの歌の最中に、「おかしことはおかし」と言うロックという方、それから「ほんとにブレないなあ」という方。それから「これはヤバイ」というメッセージも書き込まれました。いや、ほんとにあの、歌が始まってから一気にLINE LIVE VIEWINGのメッセージが減るんですね。みなさん、歌を。

徳：聴いてるんだね。徳：聴き入ってたというのがわかりました。今もうすごいです、拍手の嵐。

成：すごい！ 徳：8の数字がねずーっとパチパチパチパチと並んでる、LINE LIVEのメッセ

ジ。 松：やつぱりね、あのほんとに、表情がわかるじゃない。カメラで撮ると。あの、野外のビジョンとはまた違いますね。松：そうですね。「鼎の問」がグツと響きました。

徳：生歌もいいですけど、こういうテレビならではのところもありました。TOSHIILOWさん、ありがとうございます。

松：ありがとうございます。松：ありがとうございます。

徳：ありがとうございます。徳：さで、風とロック芋煮会は音楽だけではありません。

(風とロック芋煮会2014風とロックBASEBALLの映像が流れる)

徳：元ヤクルトスワローズの捕手、そして監督も務めました。もちろん風とロック芋野球のコミッショナーでもあります古田敦也さんトリモトが繋がっております！

松：古田さん！ 松&成：こんにちはー！ 徳：よろしくお願いしますー！ 古：よろしくお願いします。ご無沙汰しています。

風とロック芋野球コミッショナー 古田敦也さんとリモートで繋がっております

松：いや〜ご無沙汰してます。僕ね、古田さんと美容室が一緒なんで。

古：そうですね(笑)。徳：そうですね(笑)。成：(笑)

松：時々会う(笑)。古：たまに会う(笑)。

古：古田さんありがとうございます。お忙しい中、さなくて残念なんですけど

も、こういう機会といひますかね。開いていただきましてありがとうございます。

松：ありがとうございます。あの大谷翔平はホームラン王取りますか？

古：取るでしょう！ 松：取りますか(笑)。

一同：(笑) 松：わかりました。あの、それら本当に申し訳ございません

なんですけど。古田さんがずっと解説してくださって、本当にもう、おもしろくて。古田さんのいろんな辛口コメントだったりなんですけど、何年間も毎年毎年見てくださって、どうですか？

古田さんほら、解説の中で「僕の知らない野球がここにあった」っておっしゃってたのが印象的なんですけど(笑)。

古：そうですね。あの、これはね、

日本の中で一番ね、優しい野球ですね。

一同：(笑) 古：それはなんとというか、見る方の優しさに包まれるという意味ですね。

松：あ〜。 古：この野球にお金払って見に来てるっていうのが考えられないですからね。

一同：(笑) 松：まあそうですね、また違った魅力というか(笑)。

古：珍プレー続出でね、野球のレベルでいうとどうですかね。小学生くらいじゃないです

日本の中で一番優しい野球

古：ビショビショになっても、スポンジで水を汲み取ってですね、やるぞーっていう意気込みも良かったんですけどね。

上から雨が降ってるにも関わらず水を抜いてましたからね(笑)。

古：そのぐらいのみんなのやる気と、楽しませようという気があってすごく楽しい野球だったですね。

見守ってくれたから。僕らいいところ見せたいとも思っただし、心強かったし、甘えられたしってあります。これからもよろしくお願いします。

古：お願いします。あとね、全国ネットのテレビとかで言えないこともね、なかなかこの会では辛口でいけますからね。

一同：(笑) 古：僕も実況やって楽しんでます。好きなこと言えるんで(笑)。

徳：ほんとにあの、楽しいのであつという間に時間が過ぎてくるんですけども、ぜひ番組を見てみるみなさんに古田さんからメッセージをお願いします。

古：そうですね、もう来年は僕もなんとかスケジュールを整えて、現場に行きたいと思っますんで。ぜひよろしくお願ひします。

松：ありがとうございます。成：ありがとうございます。

徳：芋野球にはなくてはならない古田敦也さんでした。どうもありがとうございます。

た！

一同：ありがとうございました！
徳：現在YouTubeでは芋
野球を生配信しています。古
田さんの鋭いツッコミを含
めて名解説をお楽しみいた
だけます。風とロック芋野球
コミッションー古田敦也サ
んじょうもありがとうござい
ました。では、この後は…カ
リスマミュージシャントウ
ーQ10さんの登場です。

CM中では

徳：いや、この数分のために古田
さんわざわざ。
松：ね。嬉しいですね。
徳：スタンバイしていただきまし
た。ありがとうございました。
箭：のど自慢に古田さんってい
うんで歌うんじゃないかと
ていう説もあった。

一同：(笑)
成：たしかに最初言われたらそ
れ思うかも(笑)。
箭：実際ね、2014年にライ
ブハウスで歌本ナイトやっ
た時は歌ったの。
松：歌いましたね。
箭：浴衣姿で現れて。
成：ええ〜！激レアですね。

箭：そつなんです。

松：気持ちよく歌われましたね。
徳：古田さんってあの、最後はも
う私とかが疲れるとご自身

唯一無二の実況

で実況始めるんですよ。
一同：(笑)
松：ほんと専門的な、まさにね、
もう野球ずつと携わって
いる方がいること、ちよつと
締めりますよね。

箭：しかも唯一無二だから。古田
さんは野球知ってる人が来
ればあそこをできるかって
いう。

松：たしかに。
箭：怒っちゃう人もいるだろう
し、もう言葉が出ない人もい
るだろうし。古田さんじゃな
いとあの野球に付き合っ
てくれないんじゃないかなと
思いますね。

松：そう思いますね。
箭：面白いですよ。
徳：最初の頃はね、何を解説す
ればいいんでしょうみたいな
なことも(笑)、おつしゃつて
ましたけれどもね。
箭：あの芋野球の面々も成長し
てきたからね。
徳：そつですね。

箭：3年4年5年6年と。

松：あと審判団の方々の協力と。
箭：審判は素晴らしいですよ。

優しい審判の方々

成：優しいですよ。
箭：えいたそが何回空振りして
もセーフだからね。
成：何も見ませんでしたつて言
われましたからね(笑)。
松：そのさじ加減がね、やっぱ
り。

箭：あれ打合わせしてるわけ
じゃない。
松：自主的に。審判の形もゲーム
を作ってくれる。もうスタッ
フというか演者の1人。

箭：そうだね。
徳：またあの、キヨサクさんが
キャッチャーの時、最も動
かないキャッチャーで。パス
ボールがあつても動かない
ので主審の方がボールを渡
して、あばれる君が三本間に
挟まれるつていうこともあ
りましたね。

松：(笑)
箭：キヨサクの、このなんていう
の？あれがよだれ掛けみた
いに小さかった。
松：ピツタリなんですよ。
箭：胸の下あたりに手を当てる

このへんまでで終わった。

スタッフ：CM20秒前です。CM
明けはこちらのカメラでえい
たそさん、ワンショットの振り
から入ります。
成：はい！

徳：まあその一方で本当に、怒髪
天の増子さんが解説する時
にも最後の年なんか「野球に
なつてきましたね」つていう
ね。コメントもいただきまし
て。

成：野球なんですよ(笑)。
松：やつてたつもりなんですけど
(笑)。ようやく野球になった。

えいたそ推しなのよ

箭：えいたそ、イチチャン(LOW
IQ01)はでんぱ組：inc
のファンで、えいたそ推しな
のよ。
成：どつしましょ！
箭：聞いてた？知つてた？
成：お伺いしました。可愛く言
おうかな、じゃあね。

徳：テレビをご覧の方は突然可
愛い振りになつてピツクリ
するかもしれないんですけど。
成：ちよつとぶりつ子しちゃお
うかな(笑)。
徳：さあまもなく地上波はコマー
シャルが終わるところです。

同時生放送 LOWIQ01

成：「涙と笑いの風とロックのど
自慢 on中テレ」！続いて
のアーティストは、こちらの
方です！

紹介VTRのNA：90年代のパ
ンクロックシーンには欠かせ
ないSUPERSTUPID
のメンバーとして知られる
LOWIQ01。震災後、毎年
3月11日には岩手県釜石市
でフリーライブを続けていま
す。その復興の想いから、風と
ロックと繋がり、歌で笑顔
を届けます。

中井貴一です

01：どうも、中井貴一です。
一同：(笑)
(♪Snowman)

01：LOWIQ01でした！
一同：(拍手)
徳：LOWIQ01さんありが
とうございました。
箭：イチチャンのあのデリカシー
の感じ、好きなんだよね。え
いたそ推しだね。
成：ありがとうございます！
徳：それで振りがちよつとね、可

月刊風とロック

徳：(笑)
松：そつですか(笑)。そう言えま
すか。

CM中では

愛らしく。
成：ちよつと可愛くやつたつも
りではございました。
徳：さあこの後は！ストレイテ
ナーのホリエアツシさんの
登場です！
(笑顔のホリエアツシが映る)
箭：ホリエくん〜！なんだあの
笑顔は！

ズルい笑顔

箭：ちよつと今の笑顔は、みんな
満面の笑みが大好きだつて
わかつてるね。
松：いいリラックスというか、な
んかもう見せる人しかい
ないな全員。
箭：小動物性というかね、本当に。
成：可愛らしい。

箭：ズルいね。

松：僕と同年ですから、ホリエ
くん。僕と同級生ですから。
成：素敵な大人たち。

箭：やつばまあ、これまでのいろ
んなことに対してズルいと
言えます。僕は。

同時生放送 ホリエアツシ

成：「涙と笑いの風とロックのど
自慢 on中テレ」！続いて
のアーティストは、こちらの
方です！
紹介VTRのNA：人気ロック
バンド・ストレイテナーの
ボーカルギター、ホリエアツ
シ。風とロックには毎年ソロ
で参加。震災後も福島だけ
なく、熊本地震の被災地など
も訪れ、歌で勇気を届けてい
ます。

ホ：どうも、草刈正雄です。

スタッフ：(笑)

(♪彩雲)

ホ：ストレイテナーからホリエ
アツシでした。
徳：ホリエさんが歌ってくれた
ステージは「さすけねぞい」ス
テージ。それからもうひと
つ「あんがどないステージ」
があるんですけども、LOW
IQ01さんからですね、この

「さすけねぞいステージ」で
歌う方、自己紹介ボケが続い
てます。果たして次はどうな
るんでしょうか。
成：楽しみ(笑)。
徳：ホリエアツシさんでした、あ
りがとうございました。
松：素敵な曲だったな。最高。
徳：さて、この後は。段ボールア
ト制作中です！

ま：やつてま〜す！
松：まさやん〜。なんか段ボール
いっぱい囲まれてる。

CM中では

箭：そつか向こうで作つてくれ
てるんだね。あんがどないで
徳：まだ箱だけの状態だね。ど

ういうものができるとわか
りませんけど。

松：段ボールが組み立てである
状態からでしたから。

アイディアも 仕上げもすばい

箭：まさやんすごいよ。いつも
アイディアもすごいし仕上
げもすごいし。これ各地で
やつてるからね。各地でそれ
ぞれ使い回ししないでやつて
ますからね。
成：そつですよ。今日のため
のでしたもんね。
箭：全部そうなんですよ。
徳：その時のアイデアがすご活
かされることもできるわけ
ですよ。

成：発想力もあるし。すごい。
徳：この時間中にね、どうい
うものが出来上がるのかとい
うので非常に楽しみです。段
ボールアートの制作が、組
み立てた状態からどうなる
のかというところを見てい
ただきたいと思います。この
後なんですけれども、コマー
シャル今地上波では流れて
いる最中なんですけれども、
その後はいろいろ中継です
とか。あるいはですね、怒髪

天さんのライブですかね。

成：ありますね。

徳：ありますのでお楽しみいた
だきたいと思います。

風とロックには 欠かせない怒髪天

徳：もう怒髪天のみなさんはね、
風とロックには欠かせない
メンバーの方の。
箭：本当にもう「NO怒髪天、
NO風とロック」ですよ。風と
ロック芋煮会。2009年の
トップバッターだもんね。
松：そつですよ。もちろんトリ
もやりつつ形態もいろいろな
形でやりつつつていっつので。
箭：トップバッターにしてほし
いつてよく言われるんです
よ。怒髪天からは。最近はず
ういう話しないけど。なんで
かというと飲めるから。

徳：(笑)
成：あ、たしかに！早く終わると
ね。
松：その後1日楽しめるから。
箭：トリだと飲めないよつて。
徳：なるほど。

松：それ結構ね、いろんなフェス
でいろんなアーティストが
言う話なんですけど。やつば



コロナウイルスの影響も乗り越えようという強い思いで、復活することが決まりました

そのフェスそのイベント楽しみたいから、できるだけ早く終わって、後はもう自分たちも楽しむという。芋煮会は本当にそのやりつつ楽しみつつみたいのがね。ミュージシャンもやっぱりいいですよね。

72時間頑張ッペン

成：普通に楽しみに行ってえなという気持ちになっちゃうんですよね。困ったもんだ。松：困ったもんですよね。困ったもんですよ。

成：普通に楽しんでくれます。スタッフ：(カウント)

成：はい、先ほどね始まっておりましたが、段ボールアートの様子はいかがでしょうか？

成：読んでくださったそのままで、ごめんなさい(笑)。



絶対本物

成：お疲れ様です！

成：僕ねこれのあのクラウドファンディングがあつて、参加しました。

成：そうだったんですね。松：やっぱりどうしても残したって僕も思った1人なんですね、日本で唯一。

松：はい、もうこれシンボルですもんね。松：マツも寄付します、この後。

同時生放送 怒髪天

成：とうとう！「涙と笑いの風」とロックのど自慢 on 中テレ1にてテレビ最後のアーティ

紹介VTRのNA・2011年LIVE福島で6箇所全ての会場が福島県内に音楽の力を届けた、怒髪天。そのパワーは老若男女に届いてました。9年前、怒髪天のライブの最前列には子供たちの姿が。こちら当時小学3年生の木村勇翔くんは現在大学

入場ゲートみたいなのを作ろうかと思っ

松：そうですね、はい。たぶんお弁当をいただいたりしてるんじゃないですかね(笑)。

松：まさやんだけが一番忙しいよね、こうやってね。お疲れ様です。

松：ごめんなさいね。成：はい、ええ、ひとつだけ、あの目の前に怒髪天さんがもうセッティングされて、すごいやりづらいです。

松：そうですね、ほんとにあの一角でね、やっていただけるといふことで。

松：何が出来るのかな？今日。松：えっとあの、入場ゲートみたいなものを作ろうかと思っ

成：デカそうじゃないですか？松：柱はいけると思っんです



前内「何が出来るのかな？」

成：そうですね、はい。たぶんお弁当をいただいたりしてるんじゃないですかね(笑)。

成：そうですね、ほんとにあの一角でね、やっていただけるといふことで。

成：何が出来るのかな？今日。松：えっとあの、入場ゲートみたいなものを作ろうかと思っ

僕も坂さんみたいなの楽しんでやれるドラマーになりたい

松：いやあ、最高ですね。成：元気出る。松：素晴らしい新曲ですよ、これ。松：風とロックらしいっていう感じがしますね。怒髪天さんが出てくださると。

松：また届けてくれたって感じがする。成：覚えてやすいっていうか、初めて聴くのに全部一緒に歌ってた。

成：なんか体に染み込んでくるんですよ。松：増子さん、歌ってましたよ。成：覚えてますか？

成：はい、ありがとうございます。松：すごい元気もらいました。最高でした、ありがとうございます。

成：お、霧が出て。松：これあれじゃない？どすこい米じゃない？

松：エビ反って寝そべって。松：ありがとうございます。松：楽しみにしましょう。さあ、続きまして。ありがとうございます。松：ありがとうございます。再び中継です。2011年LIVE福島会場を巡る旅です。音速ライ

途中下車 LIVE福島 会場を巡る旅

小：はいはい！私たち現在LIVE福島3日目の会場に向かっている途中なんです。すがちよと途中下車しました。現在猪苗代湖の観光遊覧船の船乗り場まで来ています。

松：はくちょう丸とかめ丸だ。小：はい、見ていただきたいのがこちらですね。観光遊覧船のはくちょう丸とかめ丸です。長年ですね、この観光客のみならず30年以上に渡って親しまれて、そして楽しませてきたものだったんですが、新型コロナウイルスの影響で、一時その歴史に幕を下ろしました。しかし、嬉しいニュースが入ってきました。

松：何を留意しているのかなって思いながら、見てたけど。すごいね、バンド始めたって。お父さんたちもうるっときた

松：木村くんね。すごいよね。ちゃんと大学行ってね。いやもうやっぱり賢くね。そしてちゃんとバンドもやるように育て、お父さんたちもちよとうるっときたやうも

松：お、霧が出て。松：これあれじゃない？どすこい米じゃない？

松：お、霧が出て。松：これあれじゃない？どすこい米じゃない？

松：お、霧が出て。松：これあれじゃない？どすこい米じゃない？

中継

ひとりぼっち秀吉BAND ろっくんろーる横丁の 今を訪ねて

～ごつつあんファーム～

ヨ：参加してくれています。
秀：はい。
成：可愛い！
ヨ：ホリはこれほどこいつたんだって話ですよ。
秀：ホリはどっか行っちゃいました。
箭：ホリがいないね。
秀：はい。さて。この猪苗代町でお米を作っている農家さんで、風とロックの会場ではおいしいご飯を提供してくれていた「ごつつあんファーム」の岸本さんです。
秀&ヨ：よろしくお話しします！



松田「お、霧が出てる」

ベント用に置いてたどすこい米がやっぱりすごく余ってしまってるんですよ。はい。

赤ベコと物々交換という形で

ヨ：大変ですよ。なので、そこでちょっとお願いがありまして。あのですねこちらの、はい。見てください、音速ラインの藤井さんが絵付けした赤ベコがあるんですよ。
恵：可愛い。
ヨ：どうですか？
恵：すごい、可愛い。
ヨ：で、この赤ベコと物々交換と

いう形でぜひ何かというんじゃないかと、もうお米をいただけならなと、視聴者にプレゼントしたいなと思うんですけども、いかがですか。
恵：はい。ちゃんとご用意しております。
秀：ありがとうございます。
恵：この風とロックにかけまして、6.9kgのどすこい米をご用意しております。
スタジオ（拍手）
成：すごい！
ヨ：ありがとうございます！
恵：ロックな米を、はい。それと、ちょっとついでと言っただけなんですけど、ヨ：Tシャツも？
箭：はい。
恵：「白」はんとお漬物「Tシャツ」。

ヨ：ありがとうございます。
箭：いやいやあの、これ喋っても大丈夫？
秀：猪苗代町には日本一の音楽の神様が祀られているんですよ。あ、もうそっちいっくか。はい。
来年度の風とロック開催を祈願
秀：見祿上山琵琶神社と言いまして、江戸時代このあたりで旅人や住民を相手に琵琶を弾いて聞かせたその法師を祀った神様と言われております。はい。大丈夫ですか？
ベコピコ。そういうことで来年の風とロックの開催を祈願したいと思えます。来年は、大丈夫ですか？
ヨ：はい。
秀：風とロック芋煮会が無事に開催できますように！
（柏手を打ち、拝むひとりぼっち秀吉BAND）
松：ありがとうございます。
箭：ありがとうございます。
成：ありがとうございます！
徳：時間を気にしてリポートを進めてくださいましたけど、箭内さんのお米が美味し

秀：今日はですね、頂上のほうがちょっと雲がかかっているんですけども。
成：あれ？
箭：ベコピコがいる。
秀：稲穂たちが成長してきました。して。
ヨ：お米がそろそろ出来そうですね。
秀：そしてですね、虫の鳴き声も聞こえてきて、秋を感じておりますが。
ヨ：はい。
秀：そしてベコピコが。
ヨ：ここから。
秀：ここから登場しております。

CDは買う、お米も買う。応援です

箭：本当美味しいですよ。お米、本当美味しいんだよあの米。炊き方もそうなんだけど。だからみんな注文して。ごつつあんファームでTwitterで検索するとDMで注文できますから。
成：めっちゃ注文来そうですね！
箭：たくさん残ってるんだってもったいないもん。
松：そうですね。
成：食べよう、みんなで。
徳：よくあのお酒がね、どうしても飲食店がお酒を提供しづらい状況で余るとは聞いてたんですけど、お米も影響出てたんですね。

徳：応援しないとね。農家辞めちゃったら、来年食べられないよ。
徳：そうだ。
成：やだ、食べたいです。
箭：ミュージシャンのCDは買う、お米も買う。応援です。
徳：そうですね。おいしい米を食べながらね。
箭：岸本さん！元気だね。ご夫婦。いちゃいちゃしてんね、

りとか絆ってどうなんだって言葉に対して言う人がいるけど、出会いは大に育てていきたいなって思ったし、今日もその出会いに対して、水や肥やしをもらえた日だになって思いました。
徳：そうですね。えいたそさんはどうですか？今回、司会進行というか出演者として。
成：るくにあの、働けてないんですけど（笑）、なんかすごいいろんなものが詰まってる、ワー！って勢いよく盛り上がった後って普通疲れるじゃないですか。なんか今、ほっこりとあたたかい気持ちになってます。楽しかったな。つてね！

組。
徳：明日もあります。中テレで。
箭：知ってるじゃん（笑）。何その茶番！やめてよ（笑）。明日もあるよ。
徳：もちろん中テレでも放送します。もちろん配信もあります。
テレビのご覧のみなさん、また明日！
箭：今夜歌本ナイトもありますからね。
成：見てね！
徳：ぜひね、配信などもご覧いただきたいと思えます。今日の深夜には音楽番組「二畳半レコード」も、初の生放送もあります。
箭：そうですね。えいたそ出ます！
成：出ます！
箭：明日も福島中央テレビでは午後1時40分、13時40分から1時間50分の生放送でお届けします。
松：明日会いましょう！
徳：テレビをご覧のみなさんとはいっしょにお別れですー！

徳：ここはちょっといろいろあの、確定時刻という守らなきゃいけない時間があるので、ちょっとドキドキしながらね。進めさせていただきます。
成：テレビ感ありますね。
箭：うまく出来ましたね。ラジオ2本、テレビ1本。
徳：そうですね。TOSHII LOWさんもね、順番通り出られるかどうかというちょっとドキドキハラハラもありましたけど。
成：みんなだけが知ってる！
松：それも生感っていうかね。ライブでやってるんで音響の関係もありますから。
徳：実際に地上波と、福島県内の方でしようけども、地上波と配信と一緒にご覧になりながら楽しんでというメッセージを書き込んでいただきました。ありがとうございます。

成：ありがとうございます。
箭：ありがとうございます。
徳：ということ、あと6分くらいですね。ライブに行く前に「イモニー村煮っつい広場」ですね、トークをお楽しみいただきます。あとと思

風とロック

箭：岸本さん！元気だね。ご夫婦。いちゃいちゃしてんね、

またね。
恵：はい、元気にしております。
篤：はい。いちゃいちゃしてます。
一同（笑）
成：仲良しなんです！良いことだ！
箭：仲良しの、あの2人。
徳：ということでお送りしてまいりましたけども、「涙と笑いの風とロックのど自慢 on 中テレ」の部分がそろそろお時間が近づいてきてます。
松：駆け抜けましたね。
徳：ここまでいかがでしたか？
成：あつという間ですね。
箭：そうですね。音楽ライブ聴いてたらこんな時間過ぎるんだという感覚に近かったですね、この番組も。いろいろ県内もね、巡っていたいたり。すごくぎゅっと話まった番組になってるんじゃないかなって思いました。
徳：またあの、10年前もちょっと思い出したりもしてね、会場を見るときね。箭内さんはいかがでしたか？
箭：やっぱりね、みんなの繋が

りとか絆ってどうなんだって言葉に対して言う人がいるけど、出会いは大に育てていきたいなって思ったし、今日もその出会いに対して、水や肥やしをもらえた日だになって思いました。
徳：そうですね。えいたそさんはどうですか？今回、司会進行というか出演者として。
成：るくにあの、働けてないんですけど（笑）、なんかすごいいろんなものが詰まってる、ワー！って勢いよく盛り上がった後って普通疲れるじゃないですか。なんか今、ほっこりとあたたかい気持ちになってます。楽しかったな。つてね！

組。
徳：明日もあります。中テレで。
箭：知ってるじゃん（笑）。何その茶番！やめてよ（笑）。明日もあるよ。
徳：もちろん中テレでも放送します。もちろん配信もあります。
テレビのご覧のみなさん、また明日！
箭：今夜歌本ナイトもありますからね。
成：見てね！
徳：ぜひね、配信などもご覧いただきたいと思えます。今日の深夜には音楽番組「二畳半レコード」も、初の生放送もあります。
箭：そうですね。えいたそ出ます！
成：出ます！
箭：明日も福島中央テレビでは午後1時40分、13時40分から1時間50分の生放送でお届けします。
松：明日会いましょう！
徳：テレビをご覧のみなさんとはいっしょにお別れですー！

徳：ここはちょっといろいろあの、確定時刻という守らなきゃいけない時間があるので、ちょっとドキドキしながらね。進めさせていただきます。
成：テレビ感ありますね。
箭：うまく出来ましたね。ラジオ2本、テレビ1本。
徳：そうですね。TOSHII LOWさんもね、順番通り出られるかどうかというちょっとドキドキハラハラもありましたけど。
成：みんなだけが知ってる！
松：それも生感っていうかね。ライブでやってるんで音響の関係もありますから。
徳：実際に地上波と、福島県内の方でしようけども、地上波と配信と一緒にご覧になりながら楽しんでというメッセージを書き込んでいただきました。ありがとうございます。

成：ありがとうございます。
箭：ありがとうございます。
徳：ということ、あと6分くらいですね。ライブに行く前に「イモニー村煮っつい広場」ですね、トークをお楽しみいただきます。あとと思

ここより楽しい場所があるなら教えてくれよ

世にあるとは、芋煮会はただのフェスではない。おかげさまで福島をより好きになり、震災も正面から向き合おうと思えました。」というメッセージでございませう。

松：あのね、出演者の方も僕にそう言った人がいて、「ここより楽しい場所があるなら教えてくれよ。」って、すごいカッコいい言い方で、僕も知らないです。知らないから教えらんないよって話したね、その時。

成：深いなあ、それ。徳：他にもですね。

成：いっぱい来てますね。すごい。徳：そうですね。えつとまだ時間ありますね。こちら新潟県の方ですね。虹色さんです。」風とロックでほっこりしたのは、ボランティアのご夫婦。年齢はお二人とも70代くらいでしょうか。「イモ

成：深いなあ、それ。徳：他にもですね。成：いっぱい来てますね。すごい。徳：そうですね。えつとまだ時間ありますね。こちら新潟県の方ですね。虹色さんです。」風とロックでほっこりしたのは、ボランティアのご夫婦。年齢はお二人とも70代くらいでしょうか。「イモ

成：深いなあ、それ。徳：他にもですね。成：いっぱい来てますね。すごい。徳：そうですね。えつとまだ時間ありますね。こちら新潟県の方ですね。虹色さんです。」風とロックでほっこりしたのは、ボランティアのご夫婦。年齢はお二人とも70代くらいでしょうか。「イモ

ちゃ自信作なので。それをまず楽しみにしておいてください。よろしく願います。最後の曲です。

(M6) ROCKSTEADY
ホ：ありがとうございます！ストレイテナーからホリエアツシでした。

一同：(拍手)
松：正雄よかったね。
松：(笑)
成：素敵ですよ。
成：そっか、そういうことですね。
松：ホリエくん〜ありがとう。



「みんななんとか元気で待っていてほしいなと思います」

成：熱いですね、番組作るのって。松：ほんとに集結してるなって思いますよ。みんなの力が。成：素晴らしい。
松：だって僕ら配信ね、ずっとYouTubeやってる時も、何人も人がここで変わるんですよ。だから何人も寝て起きてやってるんですよ。ここで切り替わって。この後失礼しますとか言いながら。絵描き始めると一生懸命撮ってくれたりとか。みんながこの4日間をね、楽しい日にしようという力がいいですね。
松：1人でなんとかしようっていう時代じゃないからね、今ね。
成：そうですね。
松：疲れた人は休んで、元氣のある人は動いて。また交代してっという。
徳：この配信が始まる前にもです、風とロックにはいろいろな思い出話を送ってくださってる方がいらっしやるんですよ。ちょっとこの時間を借りてね、紹介したいと思えます。埼玉県のスパーミッチーさん。「初めて参加した芋煮会、楽しくて楽しくてこんな楽しい催しがこの

熱いですね、番組作るのって

松：力合わせて、作る人、出る人、歌う人、見てくれる人。これがなかったらマツと俺だけでワーツってやっても、何やってたんだっけ？俺たち。みたいなっちゃうから。
成：それはそれで面白さもありませんけどね。
松：はははは(笑)。
成：たっくさんのスタッフさんたちもすごい動いてくれて。
松：そうですね。

溜めの精神を学びたい ホリエアツシ

溜めの精神を学びたい
ホリエアツシ

ホ：「混ぜれば黒になる絵具」です。松：「混ぜれば黒になる絵具」です。成：「混ぜれば黒になる絵具」です。徳：「混ぜれば黒になる絵具」です。

成：「混ぜれば黒になる絵具」です。松：「混ぜれば黒になる絵具」です。成：「混ぜれば黒になる絵具」です。徳：「混ぜれば黒になる絵具」です。

います。ここまで、ちょうど今日の有料配信の中では3分の1以上過ぎてますね。松：そうですね。

成：そっか。半分？
徳：半分はいますね。
成：あららら、さみしい。
徳：5分の3くらいはいますね。
松：10分の6ですか？10分の6？

成：細かい！
松：60パーということですね。
徳：くらいはいるんじゃないかな。ごめんさい、数字弱いんで。
松：別にどのくらいはいてもそんな関係ない(笑)。そこまで深追いしなくてもいいんじゃない？わりとわいてる。

徳：すみません、最初あの50時間経ってないのに50時間とか言ってみたりね。失礼しました。
松：いいんですよ、徳光さん。
松：そんならいということ。いやあ、すげーいいなあなんか。松：いいねえ。

松：箭内さん、12倍になったって72時間って言ってますけど。このなんたる、企画でしか味わえない芋煮感というのをすごく実感できて。やっぱ

りいなあと思いました。こういう芋煮会も、あつてもいいなあと思いますし。今こんなこと話じゃないですけど、どっかであつた、こういうのできたらいいのかなっていうのを。

松：昨日から言ってる(笑)。誰も首縦に振ってないよ、それ。松：俺1人だけボソボソ言ってる。松：もう燃え尽きますよ。明日で我々は。
松：我々もまだこの先いろいろやることあるけど。
松：でもやっぱ、人がいるからこそですよ。
松：そうですね。

成：熱いですね、番組作るのって。松：力合わせて、作る人、出る人、歌う人、見てくれる人。これがなかったらマツと俺だけでワーツってやっても、何やってたんだっけ？俺たち。みたいなっちゃうから。
成：それはそれで面白さもありませんけどね。
松：はははは(笑)。
成：たっくさんのスタッフさんたちもすごい動いてくれて。
松：そうですね。

松：「混ぜれば黒になる絵具」です。松：「混ぜれば黒になる絵具」です。成：「混ぜれば黒になる絵具」です。徳：「混ぜれば黒になる絵具」です。

成：「混ぜれば黒になる絵具」です。松：「混ぜれば黒になる絵具」です。成：「混ぜれば黒になる絵具」です。徳：「混ぜれば黒になる絵具」です。

何かを見つげる場所

徳：そっか、そういう方に支えられて。実際にお客さんね、ボランティアの人とコミュニケーション取ってる方も多くて。手振ってたりする姿がほっこりするよな光景です。
松：支え合いですよ。支えて支えて苦しいみたいなことじゃなくて、支えてくれる方々も何か見つける場所なんだよね。
成：いいイベントだなあ。
徳：やっぱやりやうたいですね。

(M1) 月に読む手紙

ホ：月に読む手紙でした。(拍手)
ホ：僕のソロ「ent」の曲を1曲。(M2) 悲しみが生まれた場所
ホ：entの「悲しみが生まれた場所」という曲でした。ありがとう。(拍手)
(M3) 混ぜれば黒になる絵具



「みんななんとか元気で待っていてほしいなと思います」

LIVE福島、3日目の会場

猪苗代湖の志田浜

小：あ、あの私たちですね今日、まず奥会津という只見町から、ずっと会津若松の鶴ヶ城に行つて、3日目の会場、志田浜、猪苗代湖までやってきたんですが、一体これどのぐらい移動したと思います？
藤井さん。
藤：もうね、寝ても覚めても車中なわけ。
一同（笑）
小：わかる。わかりますよ。
藤：意外と5、60km以上は歩いてるね。
小：ああ。みなさんのくらいだと思いますか？
藤：5、60kmじゃねーか。
箭：結構100kmぐらいってんじゃない？
松：幅広いですからね福島。
箭：100kmぐらいいってるとか、いってねーか。
小：答えはですね、108km！
藤：108km！すごいわ。移動してますね。
小：寝ても覚めても車の中のおかげですわね、車の中だったというこで。



藤井「めちゃくちゃ綺麗だね」

箭：いわきだからね。本当の海ある。

藤：そうそうそうそう。

小：これがね、海だと思ってる方も、中通り会津の方にはいらつしやるんですよ。湖でございませぬ。

箭：明らかに3人はいます。

小：ははは（笑）、やつぱりそうなんですよ。

箭：ちょっとヒンヤリするの？
今そこは、涼しいの？

藤：ちよつとうん。風がちよつとだけ冷たくなつてきた感じですよ。

小：でも寒くはなくてすごく心地良いです。

松：すごくお二人、あ、あ、ごめ

んなさい。景色にすごい溶け込んでいて、お二人も美しいです。

小：あ、ありがとうございます。

藤：ありがとうございます。

成：映えますよー！

松：ごめん、余計なことを話してみた、すみません。

箭：小野さん嬉しいから、そう言われると。言つて言つて。

小：そういうの大好きなんです。お願いします（笑）。

松：はい。

藤：めっちゃくちゃ綺麗よ。

小：夕日がね、ちよつと今日が沈む前で。綺麗な日の光というのね、楽しめるんですよ。

成：綺麗！差し込んでる！

松：ね、線見えますよ。

箭：線見えてる。

成：わあ！

箭：だからうまく、うまく雲を避けるとね。

小：湖ですけど、なんだろう、波の音みたいなね。

藤：うん。

小：綺麗な音も聞こえますね。

藤：いやあいい音。

さんが来てくださりましたね。

箭：怒髪天、BRAMHMAN、サンボマスター、すごい濃いのよ。で、高橋優、猪苗代湖ス。

松：僕初めてこの6日間の中で、ここで初めて参加したので、はい。

箭：合流したんだね。

松：だからすごくそれまでこう

続いてきたLIVE福島の流れをここでグッと感じて、

よし最後まで行こう！って

いう気持ちなんかもあった場所ですね。僕的にも。

小：うん。やつぱりこはみなさん

ん思い出の地でもあります

よね。

箭：藤井くんとか小野さんがこう

やってね、108km移動してやって

てくれるおかげで、こういう

気持ちをもう1回味わえて、ありがとう！

藤：なんかね、いろいろ思い出し

ます。

箭：ねえ。ありがとね。

藤：こちらこそありがとござ

います。

まさに猪苗代湖ス

小：あの猪苗代湖スのみならず、
もね、ここ猪苗代湖を見て
歌を歌つた場所でもありま

着しました。

箭：志田浜だ。

小：そう志田浜ですね。

藤：めちゃくちゃ綺麗だね。
小：LIVE福島、3日目の会場となつた猪苗代湖、志田浜

にやってきました。

箭：中通りとか、会津地方の子供たちは、海だつて思つてい

る子供いるからね。

松：わかるわかる（笑）。

成：思つてました。

箭：俺ら3人思つてたからね。

松：俺ら思つてたよ。広すぎて、

これ海だと思つてた。

小：私たちはね。

中継 藤井敬之 2011年LIVE福島 会場を巡る旅 Chapter3「会いたくなる」

ステージのあるところから、こちらの広場への通路口がめっちゃくちゃ狭いんですよ。かつていう。

箭：たしかに、あそこ通れるのか？

成：この通用口を通れるかどうか

がそれが心配ですけども。

成：めちゃくちゃ狭い。

箭：（笑）

藤：たぶん福島県のマスコット

キャラクターのキビタンと

かは通れないと思います。

箭：通れないね、通れないね。た

しかに。

德：そのくらい幅なんです。

すが、ぜひね。段ボールア

ー卜完成を楽しみにしたい

と思います。はい、では続い

て中継にまいます。

「2011年LIVE福島会場をめぐ

る旅」です。10年前に行われたLIVE福島

風とロックとSUPER野馬追の会場跡に出かけて

います。

藤井さん、小野さん。

小：はい！

箭：わあ、綺麗だー！

小：到着しました、イエーイ！

箭：うっすらと夕焼けが。

小：どうですか、猪苗代湖に到

藤：うん。

小：やつぱ福島県すこく。

藤：広いね。

小：はい、108kmも移動してきまし

た。で、これもう福島県のお

へそとも言われているこの

猪苗代湖。

藤：そこにいるのね。

小：そこに今私たちがいます。な

んだかもうずつとね、ここに

いたくなるような景色なん

ですけれども。

藤：あそここの磐梯山もすごいけ

どね。

小：そうですね、あちらへ

ご覧ください。

箭：見えてる？

成：わあすごい綺麗！

小：宝の山とも言われている磐

梯山も、ちよつと雲、上のほう

だけかかっていますけども。

藤：ちよつと見えてきたね。

小：先ほどよりも見えてきまし

た。なんだかこつ宝の山とい

われるだけありますよね。

藤：ほんとに。浄化されるわ、な

んか、うん。

全国で4番目の

大きさ

小：この志田浜というのは、その

宝の山磐梯山と、そして猪苗

代湖、こつやつて眺められる、

本当に贅沢な場所なわけ

ですよ。この猪苗代湖も

ず全国で4番目の大きさ。

小：うん、すこく広い。

藤：デカいね。

小：そうですね、今日はね、

全国の方も見えていますので、

しつかりPRしたいと思

います。

成：いいんですよ、こ

小：あの冬場ですね、白鳥が遊

びに来ます。

藤：本物ね、本物の白鳥。

小：本物の白鳥が遊びに来ます。

面積103kmとつうこと、この

周囲はぐるぐる49kmもある

んですよ。

藤：かなりあるね。

小：最近になりました綺麗にな

つてね、いろんなカフェと

かもオープンし始めました、

続々と。

藤：カフェもあつてね。でも

箭：カフェもあつてね。でも



藤井「そうね、こんないいの見たらね、曲浮かんでくるよね」

すよね。

箭：そのなの、そのなの。

小：まさに猪苗代湖ぞ。

藤：猪苗代湖ぞ。

箭：初めて猪苗代湖で歌ったんだな、この時ね。

松：そうですね、そうですね。なんかたぶん震災が起きて以降、その「I love you & I need you ふくしま」リリースしてたぶん初ライブだったっていう話ですよ

ね、この時のライブが。4人で集結して、もう1回。成：楽しそう！

松：みんな歌ってますね。

小：観客のみなさんほんとに喜んでましたね。

徳：この歌だと本当に福島が好きっていう堂々と言える歌っていうかね。

成：うん。

会いたくなる 会いたくなりますね

藤：この絵面ヤバイなー。

松：これこれ、見えてんの？藤井くんせ。

藤：見えてる、見えてる。

小：綺麗ですよ。キラキラに光ってますよ。さあ。

藤：そこね、こんないいの見たら

ね、曲浮かんでくるよね。

箭：曲、うん、お願いします。お願いします。

小：今回、その即興で、ここに立って今感じたことを藤井さんに歌っていただきますよ。

箭：藤井くん、これちゃんと繋げようとして全部Cでやってるよね。

藤：あの、手癖だと思えます(笑)。箭：あ、そっか(笑)。

松：Cから始まる藤井節。箭：いや、なんかいいなあ、1曲になるんだろーかと思ってるよ。

藤：爽やかな感じにしようとするよCが出てくるんだよね。

小：お願いします！

箭：お願いします。

♪ 箭内さん 松田くん

えいたそ 徳光さん

きつと明日もいい日になる

きつと明日も明後日も

箭内さん 松田くん

えいたそ 徳光さん

小：わあ！

藤：なんかね、会いたくなる。会いたくなりますね。

成：嬉しいですね。

箭：なんか猪苗代湖ってそういう場所だよな。

藤：うん、そう。

箭：あの明日を迎える夕日を見送る場所っていうか、うん。

藤：そうそう、なんか明日もいい日になりそうだなって思う。

小：今すぐい思いました。

藤：ね、わかるよな。

小：うんスタジオにいるみなさんと、なんか早く会いたくなっちゃいました。

藤：ほんとほんと。

箭：早く帰って来て。だつて今日歌本ナイトで、また歌つてもうっから藤井くん。

藤：はい、帰ります(笑)。

小：あの私たちがまだまだちょっと会場ももうひとつ巡りたいと思います。

信じた道行こうぜ

怒髪天

箭：はい。
徳：さあ、では。次のライブいきましようか。
成：続いては、「涙と笑いの風とロックのど自慢」！続いては、風とロックにたくさん出演しているこのアーティストの登場です！

(M1：オトナノススメ)

(M2：酒燃料爆進曲)

(拍手)

増：はい、どうも。改めまして怒髪天です。ね。毎年ね、何度も福島ね、いつもだったら来てるんだけどもね。また(芋煮会が)

中止ということ。まあしょうがない、ね。今やっちゃいけないこと、できないことは無理してやっちゃダメ。ね？やれることはやってもいいよってことは、もちろん全力でやるけども。無理していいこともないからね。大体あの今までの人生の中で、気合と根性でほとんどのことは乗り越えてきたんだけどね。こればかりはちよつと相手がちよつとやすぎるともね。見えないもん。ぶん殴れないし、プチプチって潰せるわけにもいかないじゃない？だから、まあまあ、しばらく待つてればとにかく健康でいればね、また次回はあるからね。と思うんだけども本当にあの、なかなかね。みんなもそうだし、エンターテイメントとかさ。世の中的にはいらない、フェスやるな、ライブやるななんつってんだけど。我々は仕事ですからね。君たちが仕事するなつて言われてると一緒ですよ。できる範囲、ちゃん

とやっていいよという範囲でちゃんと働いていう、これはちゃんと大人ですからね。これできないかったら、ツアー先でコソ泥ですよ、我々。空き巣ですよ、ほんとに。でもステイホームで家にいるから空き巣に入れないっていうね。すごい悪循環ですけども。でもほんとね、なんかこう久々にせつかく来たんだから、お茶の間のみなさんになんかこう、甘い言葉でも。無理でしょ？(坂詰を指して)なんか言ってみる？下ネタはダメだからな！

友&清：(笑)
坂：おかわり無制限。
増：公共の電波使つてバカじゃないの？(笑)なんかさ、ないの？みなさんお久しぶりですみたい。何がおかわり無制限だよ。
坂：(増子を指して)そのへんはぜひ、お願いします。
増：お願いしますじゃなくて(笑)。福島のみなさんにコメントとかないの？

坂：あのもちろんね、なんつーのでしょうかね。
増：ダメだこれ。全然ダメだこれ(笑)。いやでもさ、芋煮会ね。芋煮会のさ、さつきから昔の映像出てきてさ。ねー。やっぱり思うのはね、優くんじゃないけどさ、若かった俺らも10年ひと昔っていうかな。
友：10年前はさ、動きにキレがあるよな。
増：キレがあるねえ。足の上がり方も違うもん。あー！つって。
友：(笑)
増：さつき優くんも言つてたけどさ、優くん老けたなって。俺老けたなって言つてない。大人になったなって言つたの。
上&清：(笑)
増：ほんとになんかこう、たくましくなっていくというかね。だからさ感覚的に言うとな、2011年よりも前から、ね、芋煮会やってさ。その頃から俺らもう、福島に来たりしてさ。風とロックやって。震災あつてそこからまたみんなでなんかやるうよつて

成：恵まれてますね、こんないい絵なかなかみだことない気がする。

箭：こんないい天気で風とロック芋煮会やらないのもったいないよな。

松：そうなんですよ。

箭：雨の年もたくさんあるのに。松：ずっと晴れてますから。いい天気。朝からやってもう、

箭内さんいい天気だなんて。徳：なんかちよつと黄昏てしましますけれどもね。

松：癒されますね。
徳：それだけの余韻を楽しみたくなるような映像と音楽でしたね、はい。他にもですね、あのこれ猪苗代湖の中継を見ていて「ぜひ行きたい」とかあるいはあの「猪苗代湖3150」さいこう、と送ってくださる方とか。メッセージがたくさん来てますね。それからあの先ほどのコメントに対して「箭内さん本当ですな」なんていうコメントまでお寄せいただいております、本当にありがとうございます。時間があればこういったメッセージなどもお届けしていきたいと思つています。



「なんか明日もいい日になりそうだなって思う」

中継

藤井敬之 2011年LIVE福島 会場を巡る旅

Chapter4「今日の意味を」



小野「やっぱりここに立つと思うものたくさんありますよね」

藤：もう、あれだね。息が上がっちゃって収まらない。
 小：そうですね。もう使い果たしましたここで。力を使い果たしましたけども。さあもうみなさん思い出している方多いと思いますので。ライブの、当時の様子をね、ここで見てみましょう。伝説の郡山会場、10年前の様子です。
(VTR)
 箭：これすごい人だよ。
 成：わあ、人がすごいです。
 小：たくさんの方、いらっしやいましたね。
 藤：すごい人。

藤：もう、あれだね。息が上がっちゃって収まらない。
 小：そうですね。もう使い果たしましたここで。力を使い果たしましたけども。さあもうみなさん思い出している方多いと思いますので。ライブの、当時の様子をね、ここで見てみましょう。伝説の郡山会場、10年前の様子です。
 箭：これ松田くんが担いでたやつじゃない？
 松：思い出す、思い出す。
 箭：どっかにいるとどっかに坂さんとマツがいる。
 藤：あ、松田くんいたいた。
 箭：あの右下の。
 小：一瞬映りましたね。
 箭：これ坂さん、坂さん。わー。僕の地元の祭りが来てくれたんですよ、この時特別に。
 箭：ああリップスライムだ。
 藤：リップスライムね。
 小：盛り上げてくださいました。

藤：もう、あれだね。息が上がっちゃって収まらない。
 小：そうですね。もう使い果たしましたここで。力を使い果たしましたけども。さあもうみなさん思い出している方多いと思いますので。ライブの、当時の様子をね、ここで見てみましょう。伝説の郡山会場、10年前の様子です。
 箭：これ松田くんが担いでたやつじゃない？
 松：思い出す、思い出す。
 箭：どっかにいるとどっかに坂さんとマツがいる。
 藤：あ、松田くんいたいた。
 箭：あの右下の。
 小：一瞬映りましたね。
 箭：これ坂さん、坂さん。わー。僕の地元の祭りが来てくれたんですよ、この時特別に。
 箭：ああリップスライムだ。
 藤：リップスライムね。
 小：盛り上げてくださいました。



伝説の郡山会場、10年前の様子です

藤：もう、あれだね。息が上がっちゃって収まらない。
 小：そうですね。もう使い果たしましたここで。力を使い果たしましたけども。さあもうみなさん思い出している方多いと思いますので。ライブの、当時の様子をね、ここで見てみましょう。伝説の郡山会場、10年前の様子です。
 箭：これ松田くんが担いでたやつじゃない？
 松：思い出す、思い出す。
 箭：どっかにいるとどっかに坂さんとマツがいる。
 藤：あ、松田くんいたいた。
 箭：あの右下の。
 小：一瞬映りましたね。
 箭：これ坂さん、坂さん。わー。僕の地元の祭りが来てくれたんですよ、この時特別に。
 箭：ああリップスライムだ。
 藤：リップスライムね。
 小：盛り上げてくださいました。

伝説の会場 磐梯熱海スポーツパーク

箭：トップバッターだったのかな。
 松：そうですね、そうですね。この日は本当にこの日ならではのラインナップ、出演者で、うん。すごかったな。ユニコーンのね、あの名古屋からの中継とか。
 箭：長野かな。
 松：長野だ、長野。
 箭：あ、EGGWRAPPERだ、よっちゃん(中納良恵)。いやあ。リアルに思い出す感覚と、夢だったんじゃないかっていう感覚と、両方だね。
 松：なんかでもこの日にひとつこつ集結した思い出っていうのもありましたね。まあ規模が大きいということであ、これだ。
 小：スペシャルシークレットとして出演いただいたのが。箭：裕也さん！(内田裕也)
 成：うわあーすごい。
 藤：裕也さんね。
 小：いや痺れましたね、この時はみなさん。
 箭：すごいね、こうやって撮ってるって。

藤：もう、あれだね。息が上がっちゃって収まらない。
 小：そうですね。もう使い果たしましたここで。力を使い果たしましたけども。さあもうみなさん思い出している方多いと思いますので。ライブの、当時の様子をね、ここで見てみましょう。伝説の郡山会場、10年前の様子です。
 箭：これ松田くんが担いでたやつじゃない？
 松：思い出す、思い出す。
 箭：どっかにいるとどっかに坂さんとマツがいる。
 藤：あ、松田くんいたいた。
 箭：あの右下の。
 小：一瞬映りましたね。
 箭：これ坂さん、坂さん。わー。僕の地元の祭りが来てくれたんですよ、この時特別に。
 箭：ああリップスライムだ。
 藤：リップスライムね。
 小：盛り上げてくださいました。

いバビューン。
 箭：なんか帰りの新幹線も一緒じゃなかったっけ？2人。
 01：そうそう、箭内さんとかも一緒に。
 箭：同じ車両だね。あそこにえいたそ乗ってるって。
 01：なんかやっぱね、俺ね、面白んだよね。アイドルの私服見んの。
 箭：あー。
 成：私服はそんな気合い入れてない時あるので、ちよつと恥ずかしいですね。
 01：私服はやっぱ違うのよ。意外にお洒落さんなんだねってこう。
 箭：(笑)
 成：意外と普通の服着るとなつてなつちゃうかもしれないですね(笑)。衣装派手なんですね。
 01：いえいえ、お洒落なんだなっと思ってましたよ。
 成：それは嬉しいです。
 箭：なんかイッチャン、えいたそは、でんぱ組：incを卒業してね。新たな第2章というか、新たな活動をしていますけど。イッチャンからこう、アドバースというか、エールとか送ってもらえたらなっ

思ったの。
 01：えいたそ？えいたそはやっぱりもうその、生まれ持った素敵な声があるんで。もうほんとにフルに活かせる職業なんかも素敵だと思えますね。だからその声をずっと維持してください。
 成：鍛えておきます。喉をバーン！
 01：それそれ！それですよ。それでいいんです、それで。
 成：はい、アドバース嬉しいですね。ありがとうございます。
 01：すみません、上から目線で。
 成：とんでもない。
 松：イッチャン、あの野球は。
 01：お前誰だよ。
 一同：(笑)
 松：松田です(笑)。
 01：オメー誰だよ？山田？
 松：田はあつてるんですけど、マツのほうで松田です。
 01：どこの？
 松：えつと、あ、THE BACK HORNの松田です。
 01：車？
 松：車ではないです。車じゃなくて松田です。お願いします！
 01：はい。だから？
 一同：(笑)
 01：ウソウソ、松田さん！お久

しぶりです。
 松：厳しいです。イチさん厳しいです。
 01：厳しいよ。藤井がここにいたらその役なんだよ、藤井が。酒を飲まないとかまんない男でしょ、あれ？
 箭：そんなことないよ(笑)。
野球知らない人が監督やっていいの？
 松：まあまあ(笑)、またイチさん野球を一緒にやらせてください。
 01：嫌です。
 松：嫌ですか(笑)。
 01：だからさつきも話したでしょ、50以上はベンチ。ヤジ。背番号83番。ヤジ。あ、82番だった。すみません。
 松：はは(笑)。若い出演者が打って投げて。
 01：そう、でもやっぱり、ほら言ったってさ、僕たちもう、イチロー世代よりもうちょい上なんで。王さんなんです。僕。01なんで。ワンチャンです。
 01：え？何？
 箭：監督。
 01：来年はイッチャン監督やってらどう？
 箭：監督。

01：野球知らない人が監督やっていいの？
 箭：はは(笑)。
 01：でもね、ちよつといいな、それ。箭：なんか面白いと思つたぶん。
 01：僕のさいふあい。
 箭：就任したんで、Tweetしとっつ。
 01：僕の采配？采配だ。アヴェンジャーズ・イン・サイファイみたいななつちやつた。言い方間違えちゃつた。采配ね。僕の頭脳野球をね。ノムさんにやりませ。
 箭：お願いします。
 松：ありがとうございます。
 箭：ありがとうございます。
 成：ありがとうございます！
 01：どうもありがとうございます。
 德：では再び中継にまいります。2011年LIVE福島「2011年LIVE福島」の会場を訪ねる旅です。
 箭：よく移動してるね。
 松：ねー。
 德：音速ラインの藤井さん、小野さん！
 成：どこだ？
 小：はー！
 箭：スポーツパークだ！
 小：郡山市の伝説の会場までやってきました、藤井さん！

01：ここ冬になるとスケートリンクになる
 箭：そうですね、ここは！
 小：そうですね、ここは！
 藤：広いね、広い。
 小：磐梯熱海スポーツパーク、のスケート場ですね。
 松：ここだ、ここだ。
 小：みなさん思い出してる方も多いと思いますけども、風とロック4日目の会場となつた場所ですね。これ広さなんですけども、一周は40mありまして、そして幅15mと本場に広いんです。この広さでここにきてくださったってことなんです、当時。
 藤：なんか聞こえてくるよね、なんかこう歓声が。
 小：やっぱりここに立つと思うものたくさんありますよね、はい。ということ、4日目の会場までやってきました。さあここスケート場ということ。
 箭：お疲れ様です。
 小：ありがとうございます。現在はですね、この冬に向けての準備中となつてはいるんですけど、あのスピードスケートもやるということ、ちよつと私前半走ってみました。



「今この現場来たら、キーが出ないってことが判明しまして」

スケート用の競技場として作られたところだったんですけどもね、あの徹夜組も出て。この時だったと思うんですけど、あの磐梯熱海の駅の前かな？地元小学校の運動会が原発事故があってできなかったからと、鼓笛隊かなんか出てくれて、お客さんを歓迎してくれた。

松：で、あの日だけ磐梯熱海の駅のその発車の、発車音が「I love you & I need you ふくしま」だったんですよ。

成：そういうところもね、電車であられた方は忘れられないでしょうね。

松：東京のラッシュアワーみたいな電車でしたからね。徳：ああ！磐越西線が。成：ぎゅうぎゅうだ。本日最後のライブです。徳：といつことで明日の曲の完成も楽しみにしたいと思えます。では本日最後のライブです。成：といつと最後かー終わってほしくないけど、いきましょー！「涙と笑いの風とロックのど自慢」！トリを務めるのは、歌声が心に響く響くーあのアーティストです！

TOSHIILOW

毎回でもやり直してみたいですね

松：どうしたんですか(笑)。成：どつしよ!! 徳：もうほら、四星球もゲートできたって言ってたし。一同(笑) 松：もうちょいだね。最後の詰めをやつてるとこ。徳：巻きでやれよ、まさ。一同(笑) 松：一応まあ、19時までっていうことだったんで。19時に合わせて。はい。徳：そうなの? 松：そうなんだよ、これね、四星球と同じスタジオにいるんじゃない? TOSHIILOW、今、ない? 松：そっかそっか、それで見るのか。

井の中途半端な歌は聴かされるわ。一同(笑) 徳：何をもつてさ、トリを取ってくださいみたいなこと言ってるのか。松：そうねえ。たしかにそれはわかる。なんか、うん。徳：ゆるいにも程があるじゃない? やつぱり。い? やつぱり。松：いや、やつぱりね、この状況だからこそゆるいことが必要なんだよ。徳：ゆるすぎない? でも、やつぱり。たまにはね。たまにはゆるーく。お喋りして終わる? とにかく。久しぶりだね。松：久しぶり(笑)。ほんとに前に会ったのがいつだったのか思い出せないんだけど。松：あれじゃないですか? 去年の今頃にやった東京支社



「ゆるすぎない?」

での中継の時じゃないですか? 配信の。松：そっか。あの時TOSHIILOW 東京支社来てたんだ。松：そうです。僕一緒にやったの。松：じゃあ1年振りだ。松：僕もたぶん1年振りだったかなと思っんですけど。松：おう。そうだね。松田はでもなんかさ。松：はい。松：久しぶりに会っても久しぶりな感じ全然しないね。松：あ、ほんとですか。松：成長してないから。松：はははは(笑)。松：なんにも。中身も。松：一瞬嬉しそうにしてたのに

あの日から始まった

松：そうですね、やつぱりあの、もう県民全員にとつてなんて全然思わないですけど、あそこに集まった人にとつては、やつぱり必要な時間だったんだなっていうふうに思います。あの日があったから今があるって言うてくれる人、たくさんいてね、やつぱりよかったなって。あのみんなで力を合わせて、いろんな本当賛否両論あった中で

松：あの日が始まったことってすごくあるなあっていうのを、なんかあの田中さんで自分も、なんかここから始めようっていう気持ちで自分に対しても言ったよ。自分が出たものって、そこから動き出したものって、なんか忘れるなあと、思ってた。なんか忘れられないし、あそこから始まった自分って、自分もあんな特別な場所であり特別な日でした。うん。

松：藤井さん、この伝説の会場に立って、改めていかかですか。ちよつと日も暮れてきましたね、幻想的な感じになってきましたけども。松：なんか何かがここから解き放たれたんだろ、という感じがなんかこう、見てて感じますね。小：震災があった年にこれだけ

歌います

松：あの今回ね、車中で、歌詞書いたんで。ちよつと持つてもらつて良い? 小：わかりました、私(この)こつ持つますので。松：ああ、ありがとう。小：それで歌っていただきます。松：いいな、この2人のこの。

徳：しかし本当にあれだけの方があの会場に集まったこと、たぶん過去なかったんですよ。松：これからのないかもしれないですね。徳：もともとはね、平成7年の福島国体のためにスピード

えいたそ呼んでなくて。タイムマシンあったら連れてくわ。成：かつこいい! 松：これ最後みんな「I love you & I need you ふくしま」をやりましたね。小：西田さんはちよつと涙を、ね。うるつとさせながら。松：みんな泣いてたね、この日は。小：そういうことでじっくり見ても、いいね。藤井：はい。小：改めて藤井さん、当時の映像をご覧になっていかがですか。

松：あの日が始まったことって、自分も、なんかここから始めようっていう気持ちで自分に対しても言ったよ。自分が出たものって、そこから動き出したものって、なんか忘れるなあと、思ってた。なんか忘れられないし、あそこから始まった自分って、自分もあんな特別な場所であり特別な日でした。うん。

小：こんな感じですかね。共同作業でございませう。松：素敵です、もうほんとに。小：いいですか、はい。さあそれではよろしいでしょうか。では歌っていただきます。お願いします。

松：これを明日ちゃんとやりませう。松：いやでもすげー伝わった、歌詞です。藤井くん。小：忘れない、というね。松：なんかみんな確かめたんだと思います、うん。小：ありがとございませう、さあその完成版は明日ということになりますけども、さあここまではお伝えしていただきました。明日も中継続きますのでお楽しみに! ありがとうございませう!

あれは結構代表作です 家族で作ったCM

やるのだけでも2011年に放映されるっていうのがさ、ね？

箭：そう、そう。

松：ちょっと、放映されづらくなっちゃってね。画角変えたりね。

箭：ね。海見るといろんなふうに見える人がいてっていうのですね。

松：そうなんだよね。でもちょっとあれ(タイアップ曲の「夢の跡」)難しくて。

箭：いやだって、あれはアコギではできないって噂は聞いたよ。

松：そう、KOHKIしか弾けないから笑。あれは。

箭：いや、あれやってほしいなあ。

松：あのCMに向けて作られた曲なんですか？

箭：そうだよ。

松：だから、元々はあそこの部分しかなかったの、それを曲にしたの。

箭：そういうことなんだ。

松：あのCMはりょうちゃんが出て、お子さんも出て。今

一同：(笑)
箭：それで、この後にOAUがリリース時に、ミュージックビデオとパロディCMじゃないけど。同じ、りょうちゃんがやっているのと全く同じ構成で(TOSHIEELOWが)同じことやってるって言う。

T：父親バージョンね。

箭：YouTubeにたぶんあると思うんで。みんな見てみてください。最高だから。

T：なんかね、でもその、家族っていうのがさ、バンドとかで生きてきちゃったからさあ。どっちかつたら、そういうものから結構かけ離れた世界というか、ステージのさ、派手な世界で生きてたから。なんかね、あれはすごいきっかけになって、やっぱりその、家族とか、今自分がほら、目の前にいる人たちとまたもう1回自分というものを、こう、なんつうの？作られた英語のTOSHIEELOWじゃなくて、自分と家族をもう1回向き合ういい機会になったっていうか、す

いいよ、それ。郡山の。

箭：なんで「ロボット知ってるんだよ」笑。

成：いい魚とか売りたい。

T：そう、そこ奥の魚屋さんめっちゃいいよね。

成：美味しいですよ、ね！

T：7時くらいに行くとすごい安くなるよね。

箭：なんで知ってるんだよ(笑)。

T：昨日買った笑。

松：住んでるのかなと思っぴっくりしちゃった(笑)。

成：嬉しい。

箭：ちょっと歌ってよ。歌ってよ。

T：ちよっと金髪、箭内とね、仕事してきたじゃない？

箭：うん。

T：まあ、その中で1個はまあ、選べないけど、あれはよかったな。

箭：何、何？

T：「ビスコ」。

箭：「ビスコ」よかったよ。

T：あれは結構代表作です。

箭：いまだに何度も見直すも

ね。

T：いいよね。

箭：りょうちゃんにも会うと褒められんもん。

T：あれはいいCMだった。しかも、またあれがさ、海でCM

(笑)。

松：すげー嬉しいなって思ったんですけど。それくらい近づいてるなっけると思っ、「ありがとう」って今言おうとして崩れ落ちましたよ、俺。

一同：(笑)
T：ははは(笑)。えいたそは久しぶりだね。

成：お久しぶりですー！

TOSHIEELOWさん！
T：あれでしょ、なんかでんぱ辞めてPerfume入ったんだっけ？

成：あ、そうですー！違いますー！
一同：(笑)

成：あんなお洒落に踊れない(笑)。

T：何やってんの？まだアイドルやってるの？

成：あの私、アイドルなんですわー！
アイドルっぽいですか？

T：だと思っよ。アイドルじゃなかった何するの？

成：アイドルしかできないですね。

箭：「ビスコ」よかったよ。

T：あれは結構代表作です。

箭：いまだに何度も見直すも

ね。

T：「ちぶれね」AWHITTE DEEP MORNING

を使っつたやつね。

松：それが始まりですか？たぶん。最初の箭内さんとは。

箭：一番最初はフジロック(フジロックフェスティバル)かなんかでTOSHIEELOWを取材したんだよね。

T：すごい取材だったよね(笑)。

箭：そう、笑。もうなんか掴めな

くて、俺。もういかなっっていう気持ちでやってた時だね。

T：全然震災前だから俺も心

むっちゃ閉ざしてた時だね(笑)。誰も信用しないみたい

な。

箭：俺もそういう人の聞く必要

ないなって思っつちゃって。

T：はははは(笑)。

箭：TOSHIEELOWが監督で俺を取ったやつね。あったあつた。

松：あれはね、ほんとにすごい。そういう関係なんだなっっていうふう

に。面白かったです。ね。

T：そう、考えたら結構仕事してるね。

箭：してるよ。してるよ。

昨日そんな話を(こ)でしてただけだ。「すぶれ」もそうです。



「全然震災前だから俺も心むっちゃ閉ざしてた時だね(笑)」

松田、なんかないの？楽器

じゃあ、急遽行きます。

T：いいんじゃない？消毒液飲んでくればいい。

松：何言ってるんですか(笑)。

箭：ってかマツ、マスクしてけば大丈夫。別に歌わないんだから。

松：じゃあ、そっち行ってみます。

成：すごい！

松：いや俺覚えてないかもしれないな。

箭：覚えてるよ。マツのイベントでさ、TOSHIEELOWやらされたよね。俺も一緒にやったんだ。うん、仙台で。マツのラジオのイベントで。

T：でも、俺も不安だよ。松田が来るの(笑)。

箭：(笑)

T：自分だけだと間違いはないんだけど。

箭：ああ、そっか。

T：あ、来た(笑)。近っーそんなに近いの？

成：早い(笑)。

箭：近いんだよ。隣だからね。

松：一応走ってきましたよ。先輩に呼ばれたんで。

T：やる？なんとなくわかる？

松：ディススタンス大丈夫ですか？

T：いいの？

箭：これ持って行けよマツ。

松：じゃあ、ちよっと行ってみませ？

T：あ、裏磐梯だね。

松：あ、そうそうそうそう。

T：ふふふ(笑)。

箭：隣県枠で来たじゃん(笑)。

松：もう的確だなあ。

箭：MCをひとつもしない時。

T：あ、やりましたね。

T：お互い諦めてるという(笑)。

箭：そう、そう(笑)。

松：はははは(笑)。全然今から想像できないですけどね。

箭：その後はTOSHIEELOWがよっちゃんと一緒に。

T：エゴ(EGOWRAPPIN)とやったやつね。2010年くらいかな。

箭：あの時「月刊 風とロック」で久しぶりに喋ったら、めちゃ喋りやすいなみたいな感じだったの。

T：だんだん変わってきたよね。あのへんはね。

箭：うん。2010年の風とロック芋煮会にTOSHIEELOWが来た時の話ちょっとしてたの。

松：あ、そうそうそうそう。

T：ふうん。

箭：BRAHMANが平和な村に投げ込まれた火炎瓶として。

T：ふふふ(笑)。

松：隣県枠で来たじゃん(笑)。

箭：もう的確だなあ。

T：MCをひとつもしない時。

T：あ、やりましたね。

松：あ、そうそうそうそう。

T：ふうん。

箭：BRAHMANが平和な村に投げ込まれた火炎瓶として。

T：ふふふ(笑)。

松：あ、そうそうそうそう。

T：ふうん。

箭：BRAHMANが平和な村に投げ込まれた火炎瓶として。

T：ふふふ(笑)。

松：なんとなくあの、いきます。目、見ながら。曲聴きながらあの曲。

T：埴町でね、歌わしてもらって。町長さんも来た中でね。

松：やりましたね。

T：やったよね。で、今は俺は、名誉町民として銅像が建ってるんですけど。

松：建ってない、建ってない(笑)。成：嘘かい(笑)。

松：まずTOSH-I-LOWくんの第一声が「埴町のみなさん、こんなやつで大丈夫ですか？」って言ったんですから(笑)。

T：言った(笑)。

松：コケてましたよ、町民のみなさん。ズコッて。いや、もう、楽しかったですね。

T：よかったね、やろうか。そのやつてみていい？



「じゃあ、そっち行ってみます」

ていうのは、歌ったことないんだよ？さっき楽屋で1回か2回すぐプリントアウトしてネットに落ちてるやつで歌ってみるっていうのを

やつてみていい？

松：やつてみて。やつてやつて。

フォークの神様

T：もちろん60年代とかのフォークの歌なんだろうけど、人間が持つてるなんつーのかな、苦しみだったり、コロナとか震災とか時代を問わず結構ずっとあるのかなっていうので、結構ね、コロナ禍の中でずっと聴いてた歌なんだけども。岡林信康。

松：はい。フォークの神様と呼ばれてる。

T：「山谷ブルース」とかね。その人の「私たちの望むものは」という曲を歌わしてください。

(M3：私たちの望むものは)

T：岡林信康で「私たちの望むものは」でした。

(拍手)
松：なんかフォークっていつて見つけたって言って、それを

時の。あ、あと、兄貴に味噌送れって言うって。

松：わかりました。もうあれですね。僕を通り越して、直接うちの兄貴とやり取りしてますけども。埴町の味噌がすごい美味しくて、TOSH-I-LOWくんが好きで取り寄せてくれるんですけど。代わりに僕が枝豆いただいたるんで。あの、水戸冷凍食品から。ありがとうございます。

松：この会話をクレインで撮ってるの、すごいシュール(笑)。

T：そうなの、シュールだよ(笑)。

松：これは、いい話の時のクレインだよ、これ。

T：ははははは(笑)。

松：今のは？違いました？

T：松田がいい話してるの1回も聞いたことないよ。

松：付き合いが長いですから。松：マツ、いい話しようすると良くないんだよ。

T：そっなの。

松：なるほど。はい。

T：じゃあ、やろつか。3:11をきっかけに歌うようになりました。カバーですけど「満月の夕」。

歌うって言った時に、絶対この歌をTOSH-I-LOW歌うって。後出しで言うわけじゃないけど、思ったの。

T：知ってた？やっぱり。

松：知ってた。うん。今必要なものがブレない形でこの中に入ってるような気がずっとしてて。TOSH-I-LOWの歌声で聴いたことで僕はそれが確信できて。声を荒げて誰かを責めるんじゃないなくて、分断を深め合うんじゃない。でもこの歌のすごく深いじゃない。ここに今TOSH-I-LOWが辿り着いたっていうのはすごく、世界が求めていることの答えの大きなひとつなんじゃないかってなって僕はこの歌に感じるんですよ。

T：ほー。でもやっぱり普遍的なものが「こま」で優しいというか、簡単な言葉ですごい入ってるっていうのはなかなかすごいよね。

松：すごいすね。ほんとすごいと思います、それは。

T：その繰り返し論法のね、フォークの一番いい感じというか、時間がないと歌えないね、11:11の。

(M2：満月の夕)

T：THE BACK HORNから松田晋一！ありがとう。できたじゃん。

一同：(拍手)

松：一番緊張しました。はい。

T：もう、戻っていいよ。

松：はい、ありがとう(笑)。

一同：(笑)

T：早めに戻って。これ以上いると事故が起きるから。絶対起きる(笑)。

松：(笑)

T：俺が滑ったみたいになるの嫌なんだよ(笑)。

松：ありがとう(笑)。

T：できた、できたね。

松：いいね。

T：マツがミュージシャンだったことがわかったね。

松：うん、今日それを伝える場面はこしかなかったから。よかったよ(笑)。

T：俺ほんとにさ、筋内とマツがやってるユニットとか大嫌いな。

松：知ってるよ(笑)。2010年の時さ、空き缶投げ込んで

空き缶をずっと投げた

たもんな。

T：ずっと投げた。よく覚えてるんだよね。

T：ふふふ(笑)

松：(戻ってきて)いや。緊張した。

T：いいミュージシャンすね、松田さん。

松：いいミュージシャンだつて。松：ほんとに、なんか温度で感じさせてくれるんで。TOSH-I-LOWくんが。構成とか、やっぱりそういうことですね。

松：なんかTOSH-I-LOWのさ、こう凄みっていうか優しいささというかが表現力っていうか、さつていうか表現力っていうのがさつきの「夢の跡」のアコギじゃ絶対できないっていうふうな周りの人たち

は言ってたわけ。あれああやつて弾くでしょ？すごく精

なやつて思ってた。それはでも、1年前よりはちょっと上手になつてるんじゃないかなって思ってたんですけど。もちろん、もちろん会って歌うことが一番なんだけど。そういうところって、どんなふうに見えるのか、TOSH-I-LOWは。

T：やるのがこれしかないんだったら、それはそれなりに最善はね、尽くしたほうがいいと思ってるけど、根本的に思ってるのは肌が触れるとか、要は音が聴こえるように空気の振動が伝わる、それで音を拾ってるわけじゃん。こっちも弦を鳴らして空気が揺れてるわけじゃん。やっぱりその空間に一緒にいるっていう「コナ」で一番できないことがさ、ほんとに一番求めるところだし。そこを勝るとはやっぱりない中で、やれることはやってくつりだよね。やれるんならやるし、やれないならやらないし。ただ、やれることの中で、ただ単に2年間何もできませんでしたっていうのもさ、もう悔しいじゃん。

普遍的なものがいいよ優しいというか

松：幸せと不幸せも逆になるんだよね。

T：幸せと不幸せも逆になるんだよね。

松：幸せに立ち向かうというか、いくつてなかなか歌えないことがなと思うし。

松：でも、こういうのをTOSH-I-LOWが歌ってくれるっていうのはすごく、似合うし、やつてほしいことのひとつですね。

T：かといって「歌本ナイト」をやりたいわけじゃないよ、俺。

松：ははははは(笑)。

松：そういう意味じゃない(笑)。「歌本ナイト」はまた違うから。みんなの青春の思い出を、っていうのだから。今ここで必要な歌ってことで。もうひとつ話したかったことがあって、TOSH-I-LOWがアラバキ(ARABAKI ROCK FES)の時のかな、猪苗代野外音楽堂の時かな。配信を見てたら、「配信で伝わるものなんて、実際に会ってライブで伝わるものに比べたらほんとに



「ずっと聴いてた曲なんだけど。岡林信康」



TOHI-LOW [THE BACK HORNから松田晋二！ありがとう]

2年間何もできませんでしたっ ていうのもさ、悔しいじゃん

箭：そっだね。
T：だからいろいろやってこうかなと思ってるし。うん。
箭：はい。ありがとうございます。
T：はい。こういう会なんですか？これは。
箭：いや、どういう会かは決めてない(笑)。
T：もうほんとに、段ボールで買ったたら終わりにしていいと思うんだよね。
一同：(笑)
箭：まだじゃないかな？だから、もう1曲は歌ってほしい。
T：もう1曲？何やる？何も決めてないんだもん。
箭：うーん。



「だからいろいろやってこうかなと思ってる」



「どうぞご無事でお帰りくださいという思いをこの曲で」

T：やめようか。
松：(笑)
T：なんかほら、絶賛リクエスト来てますとか、ないの？
箭：あ、ちよつと待って。
松：ちよつと待っててください。(チャット欄)見てます、今見てます。
T：それ「歌本ナイト」か、やること(笑)。
松：でも、今見てくださってる人たちが「これ聴きたいです」って。今TOSHIEELOWくんが言ってくれたことで。

徳：すぐ近くではリクエスト来てないんですけど、例えば煮えたぎるフォーク

ばあの「最後に煮えたぎるフォークですな」とか、「亀田さんの風とロック、風とフォーク」に繋がる流れですね」というメッセージは送っていたいですね。
成：ほんとだ！すごい1日だ。
箭：亀田さんがね、午前中にちよつとそういう話をしてくれ

てたんだよね。
T：ね。亀田のおばちゃん化が止まらないよね、ほんとにね。
箭：(笑)

強い男は最後 おばちゃんになる

T：ずっと(手振り)をこうやって。TOSHIEELOW！
箭：そうそう。体のそばで人を呼んだり手を振ったりするのね。
T：すこいよね。
箭：素敵ですよ、亀田さん。
T：最終的にはどっちも持つんだね、人間はね。強いと。
箭：そうだね。
T：渡辺俊美もやつばほら、おばちゃんだね(笑)。
松：おばちゃんっていう言い方が(笑)。
T：強い男は最後おばちゃんになる。えいたそはおじちゃんになる。
松：逆になるんですね、それは(笑)。
成：逆で考えると(笑)。
箭：TOSHIEELOWもちよつとさ、前よりたしかにおばちゃんばいああって思ってた。

村に素晴らしいシンボルができました イモニー村のゲート完成

箭：思いをすこい込めてんだなあってあのTシャツを選んだんだなって思ってる。すみません。
徳：いえ、フォローしていただきありがとうございます。続きまして、午後2時から作り始めた段ボールアートなんですけれども、TOSHIEELOWさんはんも出来たんじゃないかなんて話をしていましたが、どうなったんでしょうか？
松：あれ、もう出来てるんですか？
ま：お疲れ様です。
松：来た！
箭：お疲れ様。
成：なんかデカいのがある。
ま：完成しました！
一同：拍手
成：わくわくすこいー！
ま：飾っていただけですか？
徳：ぜひぜひ。
箭：お願いします。
ま：いいですか？持つて入ります。成：お気をつけて。おわーデカいな〜！
徳：いらっしやいませ。
ま：(2本の柱を箭内たちの後ろに飾る)
箭：あ〜いいね〜。そして。

見てたわ。
T：そうね、結構おばちゃんだね。松：やつぱりそこに辿り着くんですな。

T：やつぱりおばちゃんじゃなかったら、ピボットで安いのが買わないもんね。
一同：(笑)

箭：魚ね、いい魚入ってるしね。
T：恥ずかしげもなくパンパン入れたよ。やった、2割引！って(笑)。
箭：そうだね(笑)。なんだろね、なんか来てます？あ、今パッと見えたのが、「今夜」が聴きたい、「帰り道」がいい。
T：「帰り道」ね。
箭：ああ今そうだね。
松：時間的にも。
T：じゃあ、よろろつか。それ。
箭：「今夜」と「帰り道」、両方いきましよう。
T：はい。わかりました。
箭：やった、1曲って言うてたのに2曲入った。
T：できんのかな？

(M4：今夜)

(拍手)
T：BRAHMANで「今夜」でした。いけるっまだ。いいのっやっ

らえたら、これで完成ということ。
箭：いいの？
松：わあ、すみません。
箭：どのあたり？どのあたり？
ま：そのくらいがいいんじゃないですかね。
箭：ちよつと耳が出る。
ま：あ！出てもいいと思います。
箭：ちよつと出ます。
松：ちよつと耳出る。
箭：はいじゃあ、いきますよ。松田さん。
松：はい、ちよつと耳出します。
箭：こんなもん？OK？
箭：そのくらい。せーの。
箭&松：(ベコヒコを柱に貼り付ける)
松：はい。つきました。
一同：(拍手)
ま：こういうことで、これで完成です。
成：可愛い！
松：ありがとうございます！
箭：まさやんすこい！四星球すこいー！
徳：今この、イモニー村にゲートができたのをご覧になっ

また始める時は ゼロじゃなくて

ちよつと。もう1曲。はい、こんなご時世ですけど、ニューアコ「NEWACOSTIC CAMP」もやりまーす。いろいろね言う人も言われる人もいるし。でも1回いいと思っただよね。もう、なんか、嫌なやつ来なくなればいいと思ってるし。また始める時はゼロじゃなくて、その半分の人ちゃんと味方が人がいてくれるので。その人たちと新しいニューアコを作っていけばいいと思うので、何回でも立て直すこともできるんで、今年もそういう中で進んでいきたいと思えます。来てくれた人はもちろんどうぞご無事でお帰りください、という思いをこの曲で伝えたいと思います。「帰り道」。

(M5：帰り道)

T：OAUで「帰り道」でした。ニューアコで待っております。

て改めてどういう思いですか？
ま：いやあ、僕もちよつと正直、時間内に収まるか不安だったんですけど、なんだかんだメンバーが手伝ってくれて。なんとか完成に漕ぎ着けたんでめちゃくちゃ嬉しいです。
箭：いいね〜。
ま：ありがとうございます、ほんと。こんな機会いただいで。
徳：文字もすこく、あったかみがあつて。どうですか？松田さん。
松：すこい素敵です！立体的な文字があるのがワクワクするし、風とロック芋煮会の愛情というか、あります。
箭：「芋」のくさかんむりがね、とがってるのがすこい効いてるんだよね。
一同：(笑)
箭：あそこ丸くなってロックだね。徳：えいたそさんはご覧になってどうですか？
成：超可愛いですね！あ、カメラ見てなかった(笑)。
箭：素晴らしいよ。
徳：村に素晴らしいシンボルができましたよね。
松：このままずっと飾られて、明日も、完走まで？

実は予定時間をオーバーしておりますけども 今日の配信がまもなく 終わろうとしています

時間まで頑張ります。

成：頑張りましょう！

徳：そして全国の方には夜中には「ラジオ風とロック」ですね。

箭：そうです。午前3時です。全国の方「ラジオ風とロック」聴いていただけます。

徳：はい、ということ、明日も昼の12時からLINE

LIVE VIEWINGとRakuten TVで配信がご覧いただけます。このゲートが出来上がった上で、村からの7時間配信。ぜひまた見ていただきたいなと思います。

箭：明日はね、「猪苗代湖ズフィーチャリングTokyo Tanaka」つてのがありますからね。

徳：なんと！今からでも十分間に合いますので、明日に向けて、備えていただきたいなと思います。LINE LIVE VIEWINGでご購入いただいた方はですね、我々もつけておりまして、このラバーバンド。色が違うんですね。

箭：亀田誠治(メガネツインズ)高：高橋優(メガネツインズ)増：増子直純(怒髪天)友：上原子友康(怒髪天)清：清水泰次(怒髪天)坂：坂詰克彦(怒髪天)01：LOW IQ 01 T：TOSHIE LOW (BRAHMAN/OAU)

ホ：ホリエアツシ(ストリートナード)康：北島康雄(四星球)U：U太(四星球)ま：まさやん(四星球)モ：モリス(四星球)秀：ひとりぼっち秀吉(ひとりぼっち秀吉BAND)

ヨ：ヨギ(ひとりぼっち秀吉BAND)ホ：ホリ・ユナイテッド(ひとりぼっち秀吉BAND)成：成瀬瑛美徳：徳光雅英(福島中央テレビ)小：小野紗由利(福島中央テレビ)藤：藤井敬之(音速ライン)松：松田晋二(THE BACK HORN)

箭：箭内道彦(風とロック)

箭：個別で連絡するの大変だから。ま：空けときます。

箭：お願いします。

ま：ありがとうございます。

徳：はい、見事完成です！どうもありがとうございます！

ま：ありがとうございます。助かりました。ありがとうございます。

徳：これまた来年に向けての楽しみがひとつ増えました。

箭：そうですね。ここでやりましょう。(一同カメラ前のスペースに座り込む)

徳：ということですね、実は予定時間をオーバーしておりますけども、今日の配信が無事、まもなく終わろうとしています。ここでちよっと予告をさせていただきます。この後なんですけども、zoomを使った「愛と伝説の風とロック芋煮会 歌本ナイト」が午後9時、21時から始まりまして、はい、ぜひこちらも楽しんでください。

箭：チケットはまだ販売中なの？

徳：チケットは、販売中です。今からでも間に合いますのでね。ぜひぜひお申し込みいただきたいなと思います。

成：思います。

箭：チケットはまだまだ販売中なの？

徳：チケットは、販売中です。今からでも間に合いますのでね。ぜひぜひお申し込みいただきたいなと思います。

成：思います。

箭：チケットはまだまだ販売中なの？

徳：チケットは、販売中です。今からでも間に合いますのでね。ぜひぜひお申し込みいただきたいなと思います。

成：思います。

来年の芋煮会のゲートに

箭：ていうかさ、ほら。四星球の

康雄くんがさ、今日ライブで、「来年に向けての前夜祭」だつて言ってくれたじゃ

ないですか。

ま：はい、言っていました。

箭：これももし来年芋煮会できたらゲートにしようよ。

ま：いいんですか？

松：うんうん、そうですね。

箭：ここ全員通る。

ま：雨降ったらどうします？

箭：防水加工する！

一同：(笑)

ま：すごいー嬉しいですね。めっちゃくちゃ嬉しいよ。

箭：絶対いいよ、これ。ありがどう。

ま：僕らが呼ばれないっていうことはいいですよ？

一同：(笑)

ま：ゲートだけあるっていうパターンはないですか？

徳：それは寂しすぎる笑。

箭：毎年連絡するのめんどくさいから、絶対毎年来て！

ま：ははは(笑)。ありがどうございませう(笑)。

ま：えーいいんですか？

箭：それはそうだけど、その後もさ、この中テレの玄関にずっとあるとか。

一同：(笑)

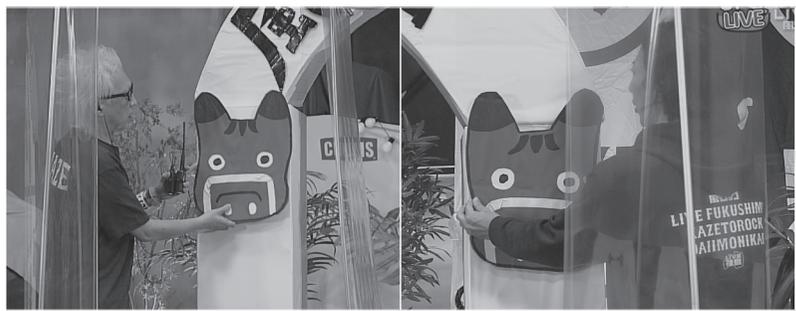
松：テレビ局に笑。

箭：コロナ明けたらみんなくぐりに来る。

成：写真撮ったりね。みんなです。

松：テレビ局に笑。

箭：コロナ明けたらみんなくぐりに来る。



まさやん「あ！出てもいいと思います」

箭内「ちよっと耳がでる」

明日もよろしくお願いします

一同：ありがとうございます

〜！

ナが早く落ちてみてみなさんがご無事でありませうに、改めてこの5人で祈ります。はい。

徳：松田さん、一言お願いします。

松：ほんとにこの、素敵な音楽と素敵なミュージシャンとね、みなさんの素敵な時間になりました。そして県内もいろいろと誇りだりもしつつ。また明日も素敵な時間

にしたいなと思いますので、72時間全て終わるまでぜひともよろしく願っています。今日も一日ありがとうございます。

徳：ということで、初日ということ、3日目ですね。

箭：そうですね、3日目ですね(笑)。

松：そうですね、3日目なんだ(笑)。

徳：配信はこれで無事終了でございます。明日もまた7時間の配信でお会いしたいと思います。みなさんまた明日もお待ちしています。ありがとうございます。ございませう！

箭：ありがとうございます

ま：ありがとうございます

徳：はい、見事完成です！どうもありがとうございます！

ま：ありがとうございます。助かりました。ありがとうございます。

徳：これまた来年に向けての楽しみがひとつ増えました。

箭：そうですね。ここでやりましょう。(一同カメラ前のスペースに座り込む)

徳：ということですね、実は予定時間をオーバーしておりますけども、今日の配信が無事、まもなく終わろうとしています。ここでちよっと予告をさせていただきます。この後なんですけども、zoomを使った「愛と伝説の風とロック芋煮会 歌本ナイト」が午後9時、21時から始まりまして、はい、ぜひこちらも楽しんでください。

箭：チケットはまだ販売中なの？

徳：チケットは、販売中です。今からでも間に合いますのでね。ぜひぜひお申し込みいただきたいなと思います。

成：思います。

箭：チケットはまだまだ販売中なの？

徳：チケットは、販売中です。今からでも間に合いますのでね。ぜひぜひお申し込みいただきたいなと思います。

成：思います。

箭：チケットはまだまだ販売中なの？

徳：チケットは、販売中です。今からでも間に合いますのでね。ぜひぜひお申し込みいただきたいなと思います。

成：思います。

箭：チケットはまだまだ販売中なの？

徳：チケットは、販売中です。今からでも間に合いますのでね。ぜひぜひお申し込みいただきたいなと思います。

成：思います。

箭：チケットはまだまだ販売中なの？



箭内「防水加工する！」